

社会福祉法人 渋谷区社会福祉事業団

令和 3 年度 事業報告書

令和3年度 渋谷区社会福祉事業団 事業報告

少子・高齢社会の進展等により福祉サービスに対する需要が増大・多様化し、利用者本位のサービス提供が求められる中、当事業団では令和3年度も区民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、社会福祉施設の運営と関連事業の充実を進めてきた。

しかしながら、サービス提供の根幹である福祉人材の確保は依然として厳しい。このため積極的な採用活動とともに職員の育成に努めるなどし、日本一を目指した質の高いサービスの実現に取り組んできた。

一方、新型コロナウイルス感染症は、前年度に続き事業の運営に大きな影響を及ぼした。この間、事業団では、渋谷区、保健所、さらに施設の管理医とも連携を図り、利用者の健康管理、施設の衛生管理に細心の注意を払うとともに、正確な情報を職員間で共有し対処能力を高め、さらに感染判明時には、職員の応援体制を的確に組むなど、組織が一丸となり、迅速な対応を図ってきた。

令和3年度に実施した事業の概要は、次のとおりである。

1 人材の確保と育成

(1) 職員の採用活動の強化

職員の採用、育成を担当する部門と事業部門との連携を的確に図る中、ハローワークや各種の募集ウェブサイトなどを活用したほか、事業団のホームページの採用欄を随時変更し、応募者にアピールするなど、人材の確保に努めた。

(2) 介護職員等の処遇改善

従来の処遇改善加算制度に加え、新たな補助金も活用し職員の処遇改善を進めた。

(3) 職員宿舍借上げ事業

認定こども園、保育園では、引き続き保育従事職員借上げ事業を継続し、令和3年度は、47人の職員が利用した。

(4) 職員の育成

認定こども園・保育園で毎年実施していた海外研修は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、国内視察は令和4年1月、応答的保育に先駆的な取り組みをしている保育園を訪問した。

2 施設及び事業の管理運営

施設及び事業の管理運営に当たっては、当事業団設立当初の「事業団設立趣意書」に基づき、次の基本方針を踏まえた事業執行を行い、区民福祉の増進を図った。

[基本方針]

- 1 利用者の人格、個性を尊重し、利用者のより快適な生活実現のためのサービス提供を行う。
- 2 地域に根差し、地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。
- 3 社会の変化や区民の要請に的確に対応できる柔軟な組織や運営体制の確立を図る。

[施設及び事業]

- 1 渋谷区社会福祉事業団本部事務局の運営
 - (1) 本部事務局
 - (2) こども未来課
 - (3) 施設課
 - (4) 渋谷区総合ケアコミュニティせせらぎ地域包括支援センターの開設準備
- 2 「渋谷区あやめの苑・代々木」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ア ショートステイ事業
 - イ デイサービス事業
 - ウ 介護者教室事業
- 3 「渋谷区美竹の丘・しぶや」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) ショートステイ事業
- 4 母子生活支援施設の管理運営
- 5 障害福祉サービス事業所（生活介護）「渋谷区生活実習所つばさ」の管理運営
- 6 授産施設「渋谷区立幡ヶ谷授産場」の管理運営
- 7 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）「渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所」の管理運営
- 8 「渋谷区立新橋作業所」の管理運営
 - (1) 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）
 - (2) 物品受託加工事業
- 9 認定こども園「神宮前あおぞらこども園」の管理運営
- 10 認定こども園「本町きらきらこども園」の管理運営
- 11 認定こども園「恵比寿のびのびこども園」の管理運営
- 12 認定こども園「本町そよかぜこども園」の管理運営
- 13 「神宮前保育園にじ」の管理運営

- 1 4 「西原保育園ゆめ」の管理運営
- 1 5 地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の管理運営
 - (1) 「渋谷区豊沢・新橋地域包括支援センター」の管理運営
 - (2) 「渋谷区恵比寿西二丁目地域包括支援センター」の管理運営
 - (3) 「渋谷区富ヶ谷・上原地域包括支援センター」の管理運営
 - (4) 「渋谷区あやめの苑・代々木地域包括支援センター」の管理運営
 - (5) 「渋谷区つばめの里・本町東地域包括支援センター」の管理運営
 - (6) 「渋谷区笹幡地域包括支援センター」の管理運営
 - (7) 「渋谷区千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」の管理運営
 - (8) 「渋谷区ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」の管理運営
 - (9) 「渋谷区あやめの苑・代々木居宅介護支援事業所」の管理運営
 - ア 居宅サービス計画作成事業（ケアプランの作成）
 - イ 要介護認定調査

◇ 事業団の職員配置（令和4年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	理学 療法士
正規職員	1人	3人	19人	19人	45人	84人	2人
(増減)	－	+1人	▲4人	+1人	+5人	+1人	－
非正規職員	－	－	－	5人	8人	36人	－
(増減)	－	－	－	▲1人	+1人	▲4人	－
	作業 療法士	保健師・ 看護師	栄養士	調理	母子 支援員	少年 指導員	生活 支援員
正規職員	2人	31人	3人	4人	3人	1人	9人
(増減)	－	+1人	+1人	+1人	－	－	－
非正規職員	－	6人	1人	2人	1人	－	7人
(増減)	－	+3人	－	－	－	－	－
	職業 指導員	施設管理	保育士	用務	心理療法 担当職員	合 計	
正規職員	5人	3人	128人	－	－	362人	
(増減)	+1人	－	+8人	－	－	+16人	
非正規職員	8人	2人	32人	6人	－	114人	
(増減)	▲1人	+1人	▲6人	－	－	▲7人	
(増減)					総合計	476人	
	+：増加 ▲：減少 －：増減なし				(増減)	+9人	

※ 部長は、こども未来部長、あやめの苑・代々木施設長、美竹の丘・しづや施設長、

※ 課長は、本部事務局総務課長、人事課長、施設課長、あやめの苑・代々木参与、総務課長、美竹の丘・しづや総務課長、事業課長、母子生活支援施設施設長、生活実習所つばさ施設長、幡ヶ谷授産場施設長（幡ヶ谷のぞみ作業所施設長兼務）、新橋作業所施設長、神宮前あおぞらこども園園長、本町きらきらこども園園長、恵比寿のびのびこども園園長、本町そよかぜこども園園長、神宮前保育園にじ園長、西原保育園ゆめ園長、地域包括ケア担当課長、千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センターセンター長

※ 正規職員は、給与規程の適用を受ける職員（特定職員、再任用職員、渋谷区からの派遣職員を含む。ただし、週40時間未満の職員は除く）（以下、同じ。）

※ 非正規職員には、再任用職員（週40時間未満勤務）、準職員、非常勤職員及び臨時職員を含む。（以下、同じ。）

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護支援専門員・介護士・看護師・栄養士・調理・少年指導員・生活支援員・保育士・心理療法士）

◇ 事業団の各施設の定員（令和4年3月31日現在）

施設名	事業種類	定員数
あやめの苑・代々木	特別養護老人ホーム	70人
	ショートステイ	10人
	デイサービス（総合事業含む）	33人
美竹の丘・しぶや	特別養護老人ホーム	127人
	ショートステイ	28人
母子生活支援施設	母子生活支援施設	16世帯（52人）
生活実習所つばさ	障害福祉サービス事業所（生活介護）	20人
幡ヶ谷授産場	授産施設	30人
幡ヶ谷のぞみ作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	20人
新橋作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	25人
	物品受託加工事業	10人
神宮前あおぞらこども園	認定こども園	123人
本町きらきらこども園	認定こども園	123人
恵比寿のびのびこども園	認定こども園	118人
本町そよかぜこども園	認定こども園	121人
神宮前保育園にじ	保育園	45人
西原保育園ゆめ	保育園	106人

渋谷区社会福祉事業団本部事務局の事業報告

I 本部事務局

1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

次のとおり、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催した。

(1) 理事会の開催状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第105回	令和3年 5月26日	【決議の省略】 (報告事項) 1 職務執行状況について 2 令和2年度 会計監査人監査報告 3 令和2年度 監事監査報告 4 社会福祉充実計画について (議案) 1 令和2年度当期末繰越活動増減差額の一部積立 2 令和2年度 事業報告 3 令和2年度 決算 4 会計監査契約の更新 5 役員等賠償責任保険契約について 6 定時評議員会の招集	原案どおり決定 // // // //
第106回	令和3年 6月7日	【決議の省略】 (議案) 1 役員の推薦 2 評議員選任候補者の推薦 3 評議員選任・解任委員の選任 4 評議員選任・解任委員会規程の一部改正 5 評議員会の開催について	原案どおり決定 // // //
第107回	令和3年 6月24日	【決議の省略】 (議案) 1 理事長、副理事長及び常務理事の選任	原案どおり決定
第108回	令和3年 12月8日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員選任候補者の推薦	原案どおり決定

第109回	令和4年 3月 3日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員会の開催	原案どおり決定
第110回	令和4年 3月25日	【決議の省略】 (報告事項) 1 職務執行状況について 2 評議員の選任 (議案) 1 評議員選任候補者の推薦 2 理事の推薦 3 評議員選任・解任委員の選任 4 施設の長の選任 5 定款の変更について 6 組織及び事務分掌規程の一部改正 7 令和3年度 補正予算 8 令和4年度 事業計画 9 令和4年度 予算	原案どおり決定 // // // // // // // //

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略とした。

(2) 評議員会の開催状況 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	開催日	議 題	備 考
第67回	令和3年 6月24日	【決議の省略】 (報告事項) 1 令和2年度 会計監査人監査報告 2 令和2年度 監事監査報告 3 社会福祉充実計画について (議案) 1 役員の選任 2 会計監査人の選任 3 令和2年度 事業報告 4 令和2年度 決算	原案どおり決定 // // //
第68回	令和4年 3月25日	【決議の省略】 (報告事項) 1 監事の選任について (議案) 1 理事の選任について 2 定款の変更について 3 令和4年度 事業計画 4 令和4年度 予算	原案どおり決定 // // //

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略とした。

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第6回	令和3年 6月11日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員の選任	原案どおり決定
第7回	令和3年 12月14日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員の選任	原案どおり決定

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略とした。

2 予算・決算等の調整及び予算の執行統制

3 職員の人事管理・福利厚生・研修

- (1) 職員の人事管理・給与管理を行った。
- (2) 職員の健康管理のための健康診断を実施した。
- (3) 職員の福利厚生のための共済会等の加入事務を行った。
- (4) 職員研修の受講の調整、啓発を行った。

4 渋谷区及び各施設との連絡調整

本部事務局は、各施設と業務委託者である渋谷区との連絡調整の役目を担い、施設や事業の目的を明確にし、各施設がより効果的な事業運営ができるよう側面から援助を行った。

また、令和4年4月1日付で「渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」を開設するため「せせらぎ包括開設準備室」を設置し、準備業務を行った。

5 こども園及び保育園に関する経営管理

こども未来課が各こども園・保育園を統括し、円滑なこども園・保育園運営の支援を行った。

6 本部事務局（総務課・人事課・こども未来課・せせらぎ包括開設準備室）の職員配置
（令和4年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	
正規職員	1人	1人	2人	10人	
	介護支援 専門員	施設管理	保育士	合計	総合計
正規職員	2人	1人	1人	18人	18人

※ 部長は、こども未来部長（事務1人）

※ 課長は、総務課長（事務1人）、人事課長（事務1人）

7 本部事務局の勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

II 施設課

1 複合施設「渋谷区美竹の丘・しぶや」の施設維持管理

施設全体の維持管理として、清掃、総合案内、設備保守管理、24時間警備、外構管理等を担当し、施設が安全で常に清潔であるように努めた。

令和3年度は消防・防災訓練を2回実施した。

2 「シニア・いきいきコミュニティ・美竹の丘」の管理運営

多目的ホール、会議室、料理室、クラブ室、和室、集会室を有するコミュニティ施設の管理運営により登録団体に文化・コミュニティ活動の場を提供した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休館並びに団体利用の制限及び一部施設の利用休止を行った。

また、地域で運営されるコミュニティ委員会の活動支援に努めた。

3 施設課の職員配置（令和4年3月31日現在）

	館長 (施設課長)	事務	施設管理	合計	総合計
正規職員	1人		2人	3人	7人
非正規職員		2人	2人	4人	

4 施設課の勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
事務 施設管理	平常	8:30	—————											17:15					
	遅番				12:30	—————											21:15		

渋谷区あやめの苑・代々木の事業報告

渋谷区あやめの苑・代々木は、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターが併設された地域の高齢者福祉施設である。特養及びショートステイの定員80床を5グループに分け、1グループ16人として、決まった職員が少人数の介助を行うことで、なじみの深い関係を作り、安心した環境で快適に生活できるように努めている。

平成29年度から通所型サービスC（短期集中リハビリトレーニング）を実施し、「区独自基準通所型サービスA」への利用に繋がられ、一層の機能強化に重点をおいたサービスを提供し、多様なニーズに応え、より積極的な介護予防を推進している。

また、国際標準化機構（ISO）が策定した品質マネジメントシステムに関する国際認証を取得したISO9001については、令和2年度に第5回更新審査を済ませ、質の高いサービスを提供するため各職種が専門職としての自覚を持ち、順調に運営している。

令和3年度における新型コロナウイルス感染者は、施設に関係する職員7人、ショートの利用者1人の計8人であったが、当事者以外には、感染が拡大することなく収束した。職員の体調不良時、また同居家族に感染が疑われる症状がみられた際は、出勤せずに経過を見る、また、体調悪化でPCR検査を受けた時点で、速やかに接触者の調査を行い、感染拡大防止対策を講じること等により、利用者への感染を防ぐことができています。また、職員のPCR検査を毎週定期的を実施し陽性者のスクリーニングをする、就業前の検温の徹底、全職員の手指消毒の徹底（介護職員は特にケアの前後の消毒の徹底）、保健所、管理医よりの的確な指示を得ながら、職員が一丸となって感染拡大防止に努めた。

今年度、渋谷区から受託した事業は、次のとおりである。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ・ショートステイ事業
 - ・デイサービス事業

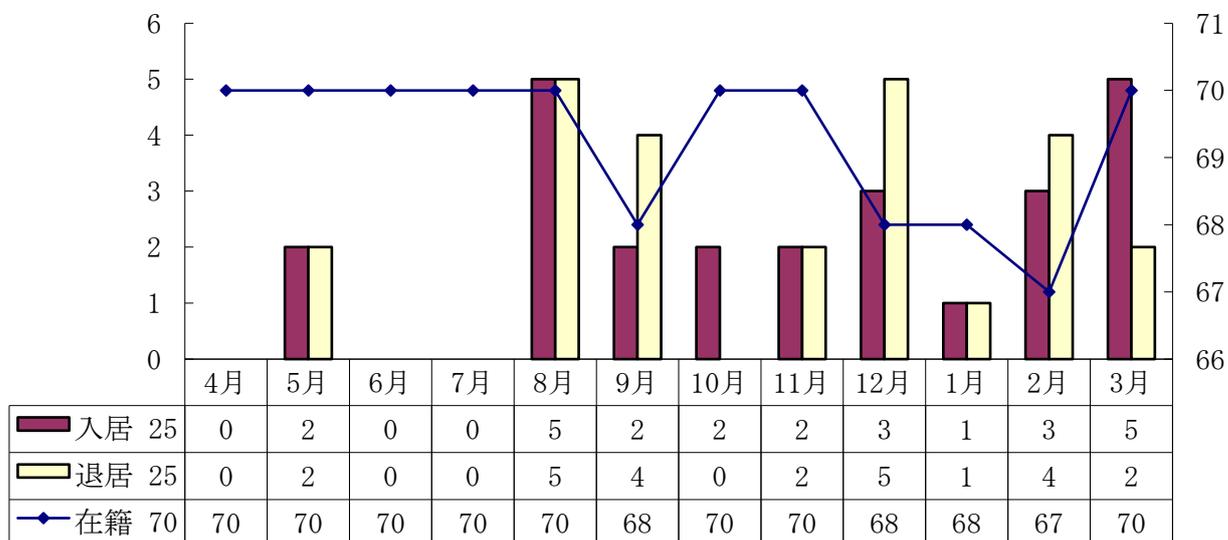
それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業 (定員70人)

ア 入退居の状況

(単位：人)

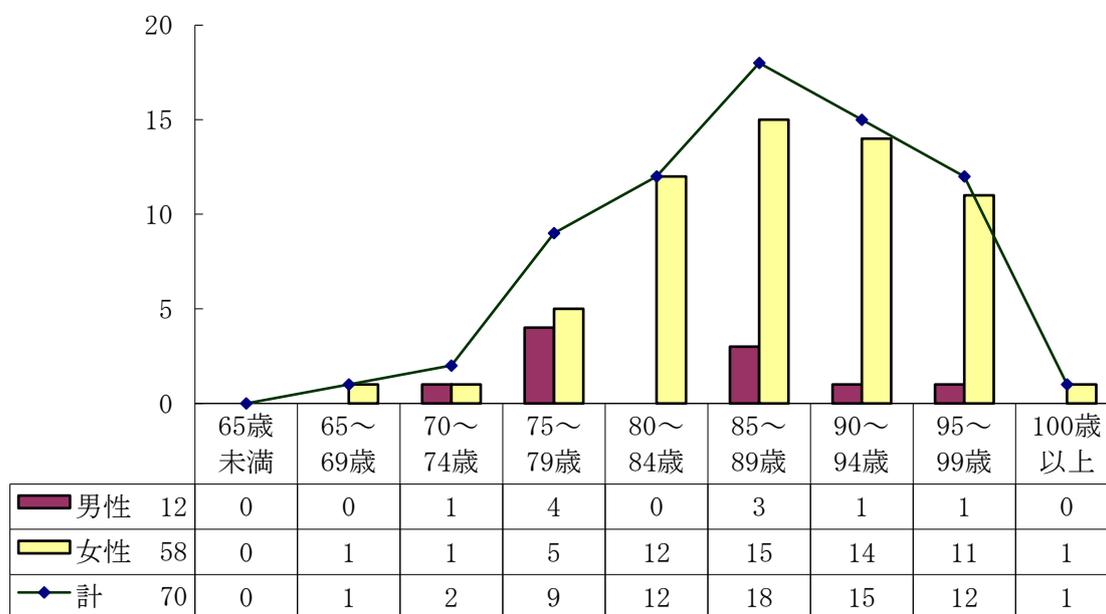


※ 平均利用率 96.02% (99.29%)

※ 11月に措置から入居へ変更 1人

イ 入居者の年齢・性別 (令和4年3月31日現在)

(単位：人)

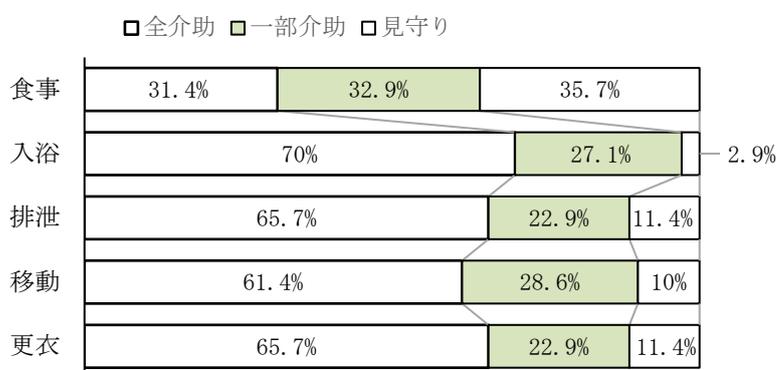


※ 平均年齢 全体 87.0歳 (87.4歳) 男性 82.7歳 (83.1歳) 女性 87.9歳 (88.2歳)

※ 最高齢者 男性 97歳 (96歳) 女性 103歳 (108歳) ()内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和4年3月31日現在）

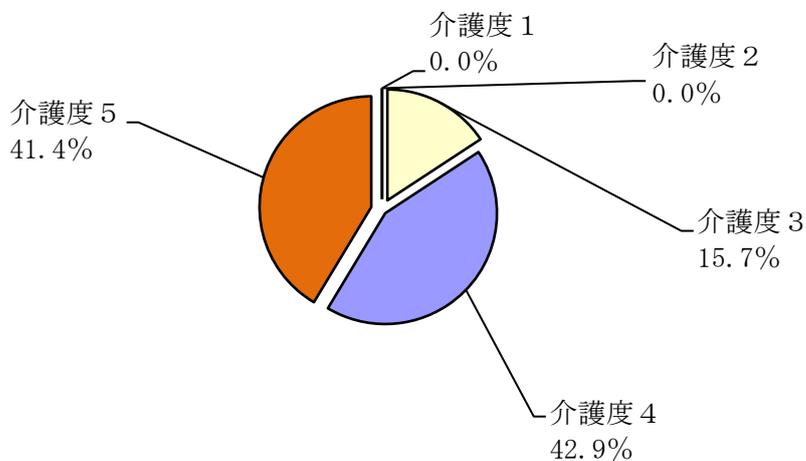
	全介助	一部介助	見守り
食 事	22人	23人	25人
入 浴	49人	19人	2人
排 泄	46人	16人	8人
移 動	43人	20人	7人
更 衣	46人	16人	8人



エ 入居者の要介護度（令和4年3月31日現在）

要介護度	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
入居者数	0人	0人	11人	30人	29人	70人
	0.0%	0.0%	15.7%	42.9%	41.4%	100.0%

※ 平均介護度 4.3 度 (4.4 度)



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	多発性ラクナ梗塞、多発性脳血管障害、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、パーキンソン病、脳梗塞、慢性硬膜下血腫、陳旧性ラクナ梗塞	24人
悪性新生物	右前頭葉腫瘍、乳癌、胃癌	3人
発達障害 精神神経系疾患	認知症、アルツハイマー、うつ病、てんかん、レビー小体認知症、高次脳機能障害、症候性てんかん、脊髄損傷、統合失調症、双極性障害、小児麻痺、器質性精神障害	73人
循環器系疾患	高血圧、慢性心不全、狭心症、不整脈、心肥大、心房細動、大動脈弁閉鎖不全、洞不全症候群、深部静脈血栓症、陳旧性心筋梗塞、腹部大動脈瘤、高カリウム血症、下肢閉塞閉性動脈硬化症、僧帽弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症、弁膜症、うっ血性心不全、頸椎脈血栓硬化症、胸部大動脈瘤、頸動脈硬化症、変形性脊椎症、心筋梗塞	75人
呼吸器系疾患	気管支拡張症、肺Mac、気管支喘息、慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、陳旧性肺結核、肺気腫	10人
内分泌系疾患	糖尿病、高脂血症、脂質異常症、高コレステロール血症	22人
筋骨格系疾患	廃用性症候群、骨粗鬆症、変形性膝関節症、変形性腰椎症、両側変形性股関節症、慢性関節リウマチ、変形脊椎症、悪性関節リウマチ、顎関節脱臼、腰部脊椎管狭窄症、変形性肩関節症、変形性側弯、頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア	28人
消化器系疾患	便秘症、胆のう炎、胆石、C型肝炎、B型肝炎、人工肛門、逆流性食道炎、胆管結石、脱肛、食道裂孔ヘルニア、慢性胃炎、慢性下痢症、胆のう結石、胆のう胞、横隔膜ヘルニア、胃潰瘍、肝嚢胞	20人
眼科系疾患	白内障、緑内障	22人
耳鼻科系疾患	難聴	10人
泌尿器系疾患	神経因性膀胱、腎機能障害、慢性腎不全、前立腺肥大、腎結石、腎のう胞、尿路感染症、腎盂腎炎、過活動膀胱	17人
皮膚科系疾患	全身乾皮症、皮脂欠乏性湿疹	2人
自己免疫疾患	橋本病、甲状腺機能低下症、サルコイドーシス	6人
血液系疾患	貧血、鉄血乏性貧血	4人

(2) ショートステイ事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員：10人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	32人	30人	31人	36人	34人	36人
利用日数	237日	264日	244日	269日	286日	269日
平均利用日数	7.4日	8.8日	7.9日	7.5日	8.4日	7.5日

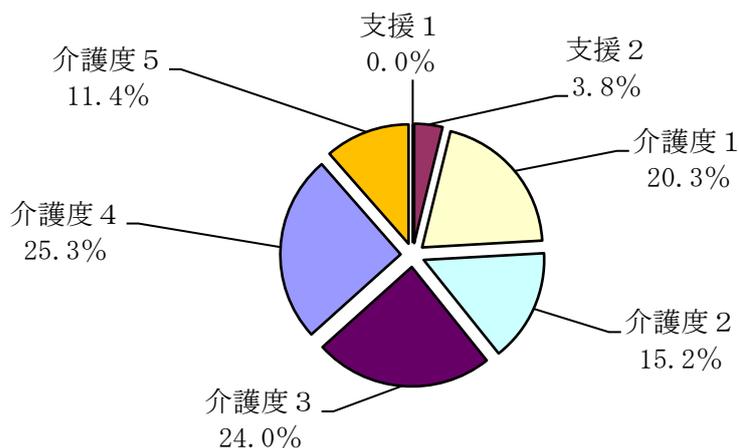
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	34人	36人	37人	33人	28人	35人	402人
利用日数	263日	282日	286日	268日	212日	272日	3,152日
平均利用日数	7.7日	7.8日	7.7日	8.1日	7.6日	7.8日	7.8日

※ 平均利用率 86.3% (83.7%)

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	3人	16人	12人	19人	20人	9人	79人
	0.0%	3.8%	20.3%	15.2%	24.0%	25.3%	11.4%	100.0%

※ 平均介護度 2.9度 (3.0度) *要支援を除く



(3) デイサービス事業

一通所介護事業、介護予防支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

ア デイサービス

(ア) 通所介護、介護予防、介護予防支援、総合事業（国基準相当）

◆ 月別利用状況（定員25人/日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数 a	412人	411人	380人	409人	374人	394人
利用者数 b	90人	83人	88人	76人	80人	82人
利用者数 c	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	502人	494人	468人	485人	454人	476人
利用率	77.2%	76.0%	72.0%	71.9%	69.9%	73.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数 a	431人	401人	364人	403人	393人	458人	4,830人
利用者数 b	82人	85人	89人	76人	80人	92人	1,003人
利用者数 c	3人	2人	3人	4人	3人	3人	18人
計	516人	488人	456人	483人	476人	553人	5,851人
利用率	79.4%	75.1%	76.0%	80.5%	79.3%	81.9%	76.0%

※ 利用者数 a は、介護給付の利用者（要介護1から5）

※ 利用者数 b は、総合事業（国基準相当）の利用者（要支援1・2及び事業対象者）

※ 利用者数 c は、介護予防支援事業利用者（要支援1及び事業対象者）

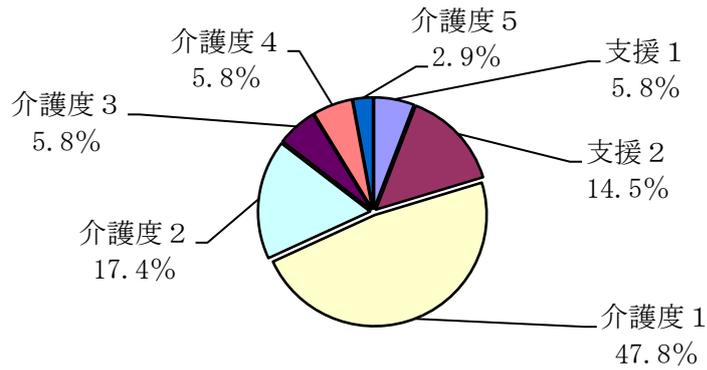
※ 年間稼働日は、308日（総合事業も同様）

※ 前年度利用率は、69.8%

◆ デイサービス利用者（利用者 a～c）の要介護度（令和4年3月31日現在）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	4人	10人	33人	12人	4人	4人	2人	69人
	5.8%	14.5%	47.8%	17.4%	5.8%	5.8%	2.9%	100.0%

※ 平均介護度 1.7度（1.6度） * 要支援を除く



(イ) 総合事業（区独自基準：通所サービスA）

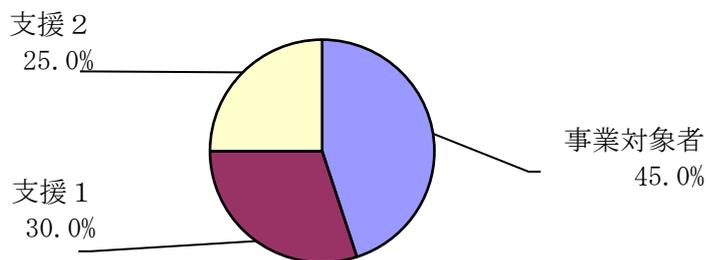
◆ 月別利用状況（定員8人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数d	97人	94人	99人	77人	68人	84人
利用率	46.6%	45.2%	47.6%	35.7%	32.7%	40.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数d	76人	75人	71人	68人	70人	97人	976人
利用率	36.5%	36.1%	37.0%	35.4%	36.5%	44.9%	39.6%

◆ デイサービス利用者（利用者d）の要介護度（令和4年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	9人	6人	5人	20人
	45.0%	30.0%	25.0%	100.0%



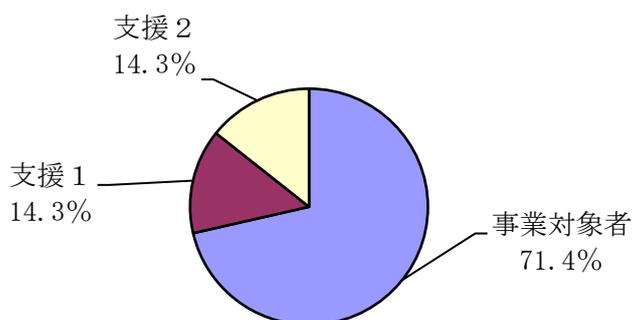
(ウ) 総合事業（通所型サービスC 短期集中リハビリトレーニング）

◆ 月別利用状況（定員10人／日）

	9月	10月	11月	計
利用者数e	52人	46人	39人	137人
利用率	57.8%	57.5%	55.7%	57.1%

◆ デイサービス利用者（利用者 e）の要介護度（令和4年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	5人	1人	1人	7人
	71.4%	14.3%	14.3%	100.0%



イ 介護者教室

4回の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2回は中止とし、2回は参加者が0人であった。

開催日	テーマ	参加人数
12月18日	「車イスの種類と操作方法」	0人
3月19日	「車イスの種類と操作方法」	0人
合 計		0人

ウ デイサービス家族懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、アンケート配布時に相談は随時受け付けている旨を記入した。

2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

	行事名	実施内容	摘要
4月	誕生会 世界・日本の郷土食	お祝いと会食 もぶり飯（愛媛県）	
5月	誕生会 世界・日本の郷土食 端午の節句昼食会 菖蒲湯	お祝いと会食 モロ・サルタート（ペルー） 各フロアに鯉のぼりを飾り、会食	
6月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会	お祝いと会食 あんかけカツ丼（岩手県） フルーツバイキング	

7月	誕生会 世界・日本の郷土食 七夕夕食会 お盆行事（苑庭）	お祝いと会食 ケジャリー（スコットランド） 各フロアに七夕を飾り、会食 迎え火、送り火	
8月	誕生会 世界・日本の郷土 おやつを楽しむ会	お祝いと会食 模擬店、ゲーム ぼっかけ（愛媛県）	
9月	誕生会 世界・日本の郷土食 敬老会 スイーツビュッフェ	お祝いと会食 ロコモコ丼（ハワイ） 敬老のお祝い	
10月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会 秋まつり	お祝いと会食 かしわのひきずり（愛媛県） 和菓子、抹茶を提供	
11月	誕生会 世界・日本の郷土食 和菓子を楽しむ会 買い物サロン	お祝いと会食 アイリッシュ・シチュー（アイルランド）	
12月	誕生会 世界・日本の郷土食 餅つき クリスマス会 ゆず湯	お祝いと会食 トルコライス（長崎県） ケーキやお菓子を楽しむ	
1月	誕生会 世界・日本の郷土食 新年祝賀会 初詣	お祝いと会食 プルコギ（韓国） グループ毎におせち料理会食、祝賀 あやめ神社勧請	
2月	誕生会 世界・日本の郷土食	お祝いと会食 牛肉のしぐれ煮（鳥取県）	
3月	誕生会 世界・日本の郷土食 雛祭り お花見	お祝いと会食 ガパオライス（タイ） フロアで雛人形を飾り、会食	

(2) クラブ活動実施状況

以下のクラブ活動の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

クラブ名	実施日等	実施内容	参加人員
音楽クラブ	第4水曜日	ハーモニカ等の伴奏による合唱（唱歌・季節の歌・なつメロ等）楽器演奏	0人
手工芸クラブ	毎月1回	毛糸を用いた共同作品	0人
おしゃれクラブ	毎月1回	お化粧品、マニキュア	0人
クラブトントン	毎月3回	歌、体操、レクリエーション	
クラシックコンサート	毎月1回	山口音楽教室（バイオリン、ピアノ等）	0人

映画上映会	毎月1回	懐かしの邦画	0人
アロママッサージ	毎月1回	ハンドマッサージ	0人
やさしいヨガ	毎月2回	ヨガ	0人

(3) ボランティアの受入状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

活 動	参加者等	延参加人数
1階喫茶コーナー「あい」にて飲食物の提供	「あい」	256人
傾聴ボランティア実習	渋谷ボランティアセンター傾聴ボランティア実習生（オンライン）	4人
合 計		260人

(4) 実習生の受入状況

	[実人員]	[延人員]
① 介護福祉士	0人	0人
② 看護学生	6人	6人
③ 人事院公務員研修	0人	0人
④ 介護職員初任者研修	0人	0人
⑤ その他	0人	0人
計	6人	6人

(5) 医療体制

① 管理医勤務日数	108日
② 従事医勤務日数	96日
(内訳) 内科医	(30日)
皮膚科	(12日)
眼科	(6日)
精神科医	(24日)
整形外科	(24日)
③ 歯科医口腔衛生指導日数	24日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	あやめの苑の防災対策	あやめの苑・代々木防災対策内容確認
5月	初期消火訓練	消火器の取り扱い説明と放水訓練
6月	AED使用訓練	AED使用方法資料配布

7月	複合火災受信機訓練	複合火災受信機取り扱い訓練
8月	夜間火災発生時行動訓練	夜勤体制時の火災発生行動訓練
9月	119番通報の仕方	119番通報時のポイント訓練
10月	火災発生時ベッドからベランダへの避難	入居者をベッドからベランダへの移送訓練
11月	防災設備・備蓄品確認	防災設備・非常電源・発電機と備蓄品の確認
12月	あやめの苑・代々木消防計画について	あやめの苑・代々木消防計画の内容確認訓練
1月	緊急時安否確認メール送受信	緊急時に職員の安否確認訓練
2月	AED使用訓練	AED使用方法資料配布
3月	緊急時の非常放送訓練	緊急時の館内放送訓練（複合火災受信機）

3 職員配置（令和4年3月31日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	栄養士
正規職員	1人	2人	2人	4人	25人	2人
非正規職員					15人	
	調理	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	4人	1人	1人	6人	48人	67人
非正規職員	2人			2人	19人	

※ 施設長は、介護支援専門員1人（事業課長兼務）

※ 課長は、参与（事務）1人、総務課長（事務）1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護士・看護師）

4 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

(1) 特別養護老人ホーム及びショートステイ担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23											
介護士	早番							7:00	—————														15:45													
	平常							8:00	—————														16:45													
	遅番										10:15	—————														19:00										
	深遅													13:00	—————														21:45							
	夜勤	—————													7:15	—————														21:30	—————					
看護師	平常							8:30	—————														17:15													
	夜勤	—————													9:30	—————														16:30	—————					
調理員	早番				6:00	—————														14:45																
	平常							8:30	—————														17:15													
	遅番										10:45	—————														19:30										

(2) デイサービス担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23										
介護士	平常							8:30	—————														17:15												
看護師	遅番									9:15	—————														18:00										

(3) その他の職員

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23										
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30	—————														17:15											

5 職員研修

職種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理者	介護施設における安全対策担当者養成研修、個別機能訓練と加算に関する研修	2人	2日
介護支援専門員	ソーシャルワーク研修、zoomの基本的な操作から模擬体験	2人	2日
介護士	SHIBUYAかいごセミナー(「介護従事者は利用者を守るヒーロー」、「認知症の対応で困っている方集合」、「ターミナル期の方の体を覗いてみよう」)、移乗研修(トランスファーボードとスライディングシート、リフト)、人権研修、第1回介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修	14人	26日
作業療法士	シルバーリハビリ体操、ポジショニング研修、ポジショニング・シーティングの考え方と実践	1人	3日
栄養士	栄養ケアマネジメント研修	1人	1日

全職員	褥瘡防止研修、虐待防止研修、倫理研修、感染症対策の必要性、手洗いチェック、感染症対応研修（防護服）、身体拘束廃止研修、日常記録について、看取り研修	103 人	20 日
-----	---	-------	------

※ 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の職員の研修については、別途記載。

渋谷区美竹の丘・しぶやの事業報告

渋谷区美竹の丘・しぶやは、渋谷区で初めて開設された「ユニットケア」による特別養護老人ホームである。全室を入居者のプライバシーに配慮した個室とし、7～8室の個室と食事や機能訓練を行うリビングを1つの生活単位（ユニット）として、小人数の家庭的な雰囲気の中で介護を行っている。

今年度は年間を通じて緊急事態宣言等が発出されており、感染の拡大防止のため、職員の定期的なPCR検査を実施するとともに、感染者が発生した場合にも、管理医・保健所等関係機関との連携の下、職員の機動的な対応により、利用者へ感染させることなく、事業運営をすることができた。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ ショートステイ事業

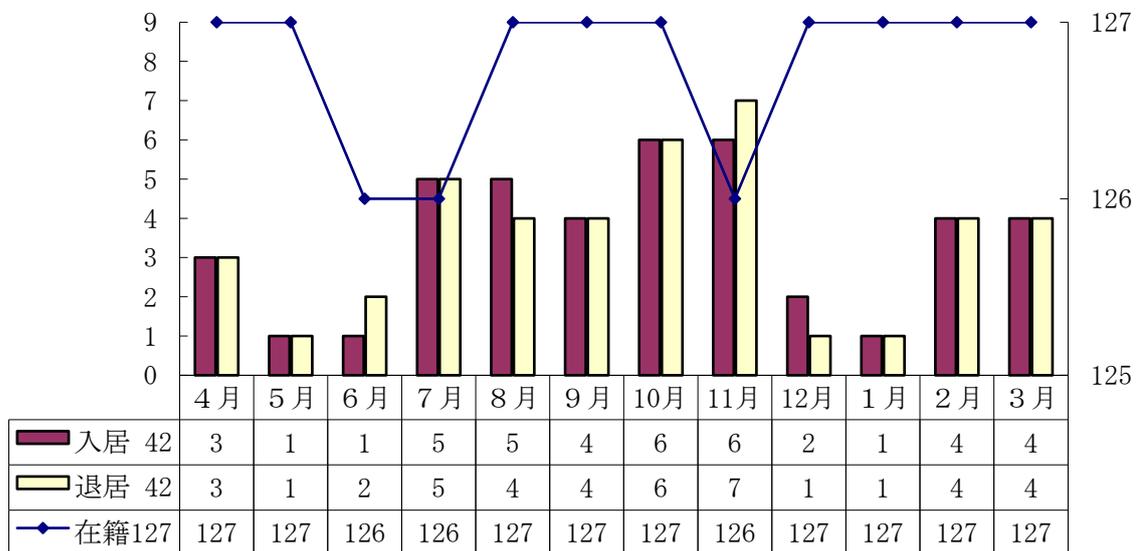
また、それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員127人）

ア 入退居の状況

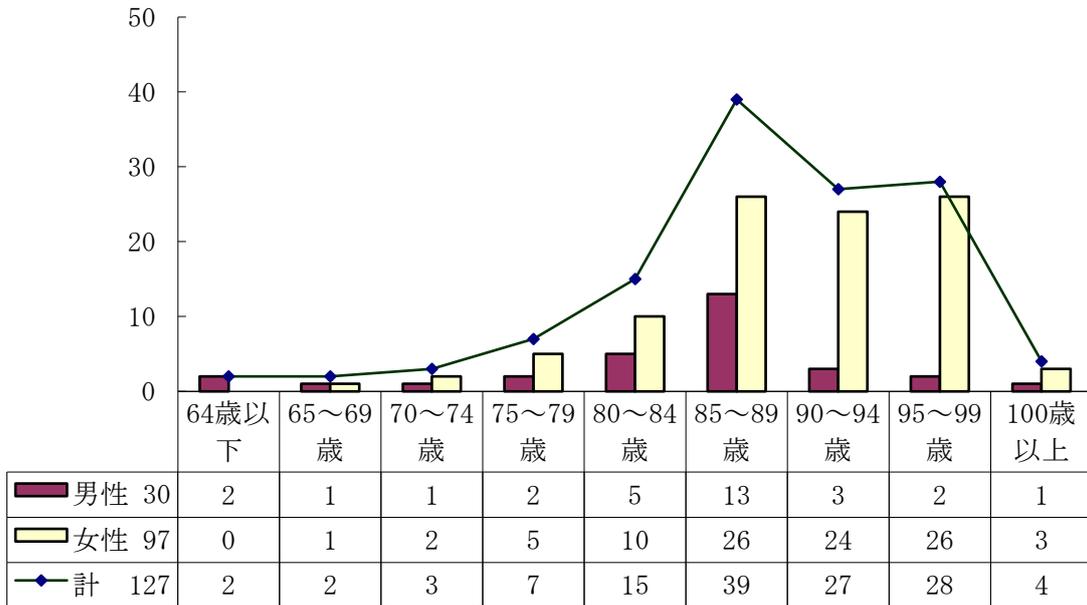
（単位：人）



※ 平均利用率 96.47% (94.29%)

イ 入居者の年齢・性別（令和4年3月31日現在）

（単位：人）

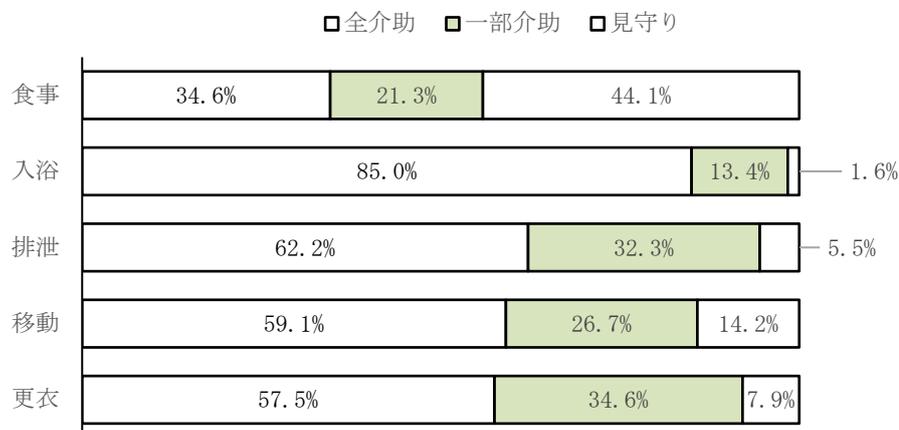


※ 平均年齢 全体88.5歳（88.1歳）男性84.2歳（84.9歳）女性89.8歳（89.4歳）

※ 最高齢者 男性103歳（103歳）女性105歳（104歳）（ ）内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和4年3月31日現在）

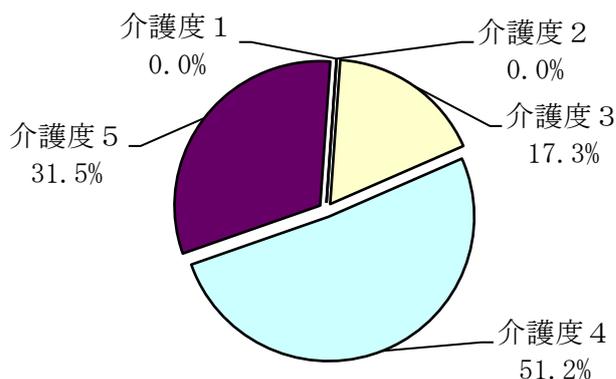
	全介助	一部介助	見守り
食 事	44人	27人	56人
入 浴	108人	17人	2人
排 泄	79人	41人	7人
移 動	75人	34人	18人
更 衣	73人	44人	10人



エ 入居者の要介護度（令和4年3月31日現在）

要介護度	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
利用者数	0人	0人	22人	65人	40人	127人
	0.0%	0.0%	17.3%	51.2%	31.5%	100.0%

※ 平均介護度 4.1度（4.1度）



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	脳梗塞、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、慢性硬膜下血腫	58人
悪性新生物	前立腺癌、乳癌、胃がん、子宮がん、大腸がん	15人
精神神経系疾患	認知症、うつ病、パーキンソン病、てんかん、統合失調症、脊髄小脳変性症、小児麻痺、高次脳機能障害、脊髄損傷	95人
循環器系疾患	高血圧、狭心症、期外収縮、慢性心不全、高脂血症、心肥大、心房細動、深部静脈血栓症、うっ血性心不全	96人
呼吸器系疾患	陳旧性肺結核、喘息、気管支拡張症、気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、肺気腫	28人
内分泌系疾患	糖尿病、脂質異常症、高脂血症、高コレステロール血症	20人
筋骨格系疾患	大腿骨頸部骨折後遺症、腰痛、変形性膝関節炎、後縦靭帯骨化症、変形性脊椎症等、廃用性症候群、骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性股関節症	63人
消化器系疾患	消化管癌術後、胆石、肝障害、胆嚢炎、C型肝炎、人工肛門、痔瘻、脱肛、慢性胃炎	30人
眼科系疾患	白内障、逆まつげ、緑内障、黄斑変性症	7人
泌尿器系疾患	膀胱炎、前立腺肥大、腎結石、神経因性膀胱、腎機能障害	17人

皮膚科系疾患	白癬、爪白癬、老人性そう痒症、帯状疱疹、尋常性乾癬	36人
婦人科系疾患	子宮脱、不正出血、乳がん、子宮がん	6人
自己免疫疾患	シェーグレン症候群、慢性関節リウマチ	2人

(2) 短期入所（ショートステイ）事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員28人/日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	106人	102人	97人	104人	106人	108人
利用日数	831日	834日	785日	827日	846日	822日
平均利用日数	7.8日	8.2日	8.1日	8.0日	8.0日	7.6日

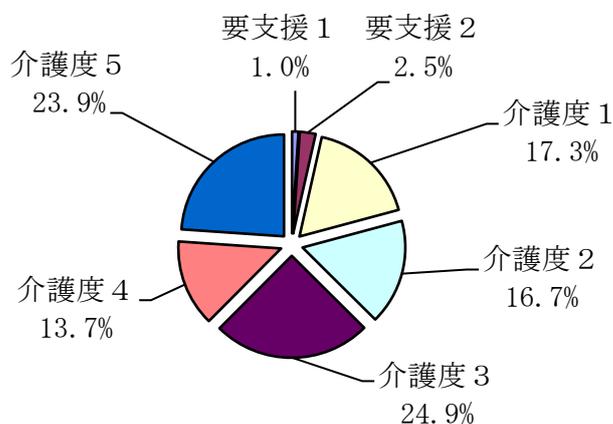
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	108人	102人	107人	99人	83人	104人	1,226人
利用日数	835日	814日	839日	799日	677日	842日	9,751日
平均利用日数	7.7日	8.0日	7.8日	8.1日	8.2日	8.1日	8.0日

※ 平均利用率 95.3% (94.0%)

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	2人	5人	34人	33人	49人	27人	47人	197人
	1.0%	2.5%	17.3%	16.7%	24.9%	13.7%	23.9%	100.0%

※ 平均介護度 3.1度 (2.7度) *要支援を除く



2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

ア 全体実施

	行事名	実施内容
9月	敬老会	各階ごとの開催とし、区長・区議会議長によるお祝いの手紙と花束等を施設長により贈呈し、記念撮影を行った。
10月	美竹まつり	3・4・5階、6・8階、7・9階に分かれて日程をずらして開催した。感染症に配慮して3密を避けた形で、模擬店やゲームコーナー、記念撮影コーナーを設置して、お祭りの雰囲気を楽しんでいただいた。
3月	春まつり	3・4・5階、6・8階、7・9階に分かれて記念撮影コーナーを3か所設置して、春らしい写真を撮影した。

イ 各ユニット実施

各ユニットでは、年間を通して次のような行事を実施した。

- ◆ 入居者に関するもの
誕生日会、100歳のお祝い会、工作
- ◆ 食に関するもの
お菓子づくり、出前、ランチ会、茶話会、かき氷、果物を楽しむ会
- ◆ 季節に関するもの
菖蒲湯、母の日、父の日、七夕、納涼行事、暑気払い、スイカ割り、お月見、ハロウィンパーティー、ミニ運動会、ゆず湯、クリスマス、正月行事、書初め、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り
- ◆ 外出に関するもの
神宮外苑銀杏並木ドライブ

(2) クラブ活動実施状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

クラブ名	実施日等	実施内容	延参加人数
園芸クラブ	3か月に1回	花苗の手入れと植え替え	10～15人
書道クラブ	月1回	書道	0人
生け花クラブ	月1回	生け花	0人

(3) ボランティアによる行事の開催状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

活動名	内 容	ボランティアの延参加人数
歌唱（歌謡曲・唱歌等）	カラオケと参加者の合唱	0人
朗読	詩や絵本、紙芝居等の朗読	0人
ワンポイント・メイク及びハンドマッサージ	お化粧品と手指・腕・足等の簡単なマッサージ	0人
ヘアカット	6階美容室において、ヘアカット・シャンプー・ブローを行う	122人
動物とふれあう会	犬や猫の小動物とのふれあい	0人
傾聴（会話）	個人またはグループによる会話や傾聴	0人
舞踊リハビリ（舞リハ）	日本舞踊を取入れた主に上半身の運動	0人
折り紙	創作折り紙を楽しむ	0人
合 計		122人

(4) 施設内のイベント活動

活動名	内 容	回数	延参加人数
歌唱&楽器演奏等	シャンソン・コーラス・ピアノ等の演奏、歌の披露	0回	0人
保育園等との交流会	園児・児童による歌や踊りの披露等（美竹の丘保育園）	0回	0人
美竹まつり、敬老会	模擬店、ゲームコーナー等の開催	2回	250人
合 計		2回	250人

(5) 医療体制

- ① 管理医勤務日数 187日
- ② 従事医勤務日数 100日
- （ 内 訳 ） 内科医 （ 40日 ）
- 皮膚科 （ 28日 ）
- 精神科 （ 24日 ）
- 整形外科 （ 24日 ）
- ③ 歯科医口腔衛生指導日数 21日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	防災研修・訓練	9階で実施、新規採用者に消火栓、消火器の設置場所を説明 場内パトロールを実施し、不適切箇所の是正を行った。
5月	防災研修・訓練	8階で実施、新規入職者に消火栓、消火器の設置場所を説明 自施設は免震構造であるため、免震構造について説明を行った。
6月	防災研修・訓練	7階で実施。消火器、消火栓の位置確認及び消防設備に関する説明を 行った。(火災通報専用電話機の取り扱い方、火災発生場所の確認方法、 火災報知器を誤作動させた場合の対応方法、スプリンクラーを誤作動 させた場合の対処方法)
7月	合同消防訓練	6階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練(通報、非常 放送、初期消火、避難誘導等を実施)
8月	防災研修・訓練	5階で実施。7月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。(避難通路 に障害物がなかったか、初期消火時の出火場所との距離は適正であっ たか、フロア在籍人数は確認出来ていたか、防火扉は適正に使用出来 ていたか、通報設備が配置されている職員室の整理整頓は出来ていたか 等)
9月	防災研修・訓練	6階で実施。消防設備機器の説明を実施した。東京消防庁のホームペ ージに載っている防災クイズを参加者に行い、防災知識の向上を図った。
10月	防災研修・訓練	5階で実施。消火器、消火栓の設置場所の確認及び取り扱いについて 説明を行った。消防隊員による心肺蘇生の動画鑑賞を行い、AEDの取 り扱い方法について説明を行った。
11月	防災研修・訓練 夜間停電発生時 の対応訓練	4階で実施。夜間停電を想定した初期対応訓練を実施。非常用電源作 動時の照明の状況、停電時に使用できるコンセント位置の確認及びポー タブル発電機の使用方法を説明した。
12月	合同消防訓練	8階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練(通報、非常 放送、初期消火、避難誘導等を実施)
1月	防災研修・訓練	3階で実施。12月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。(防火扉 は適正に使用出来ていたか、居室内で避難する際の対応について説明) 災害時の通報訓練を実施
2月	防災研修・訓練	新型コロナウイルス感染症予防のため中止 新規入職者に消火栓、消火器の設置場所を説明
3月	防災研修・訓練	3階で実施。場内パトロールと施設平面図を配布し、防火扉の位置の 説明を実施した。救命講習を実施

3 職員配置 (令和4年3月31日現在)

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	
正規職員	1人	2人	3人	7人	59人	
非正規職員					21人	
	栄養士	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	6人	81人	105人
非正規職員				3人	24人	

※ 施設長は、事務1人

作業療法士 理学療法士	ポジショニング・シーティングの考え方と実践、よくわかるL I F E活用術	4人	2日
事務	介護報酬請求事務に関わる研修会（応用編）よくわかるL I F E活用術	2人	4日
栄養士	ミールラウンドでの食事観察、よくわかるL I F E活用術	2人	2日
全職員	施設における困難事例への対応方法、ノロ対応ユニット研修、感染症対策、認知症ケアを考える、適切なケアを考える、移乗事故防止、高齢者虐待の防止、事故防止（骨について）、緊急時救急対応、救命講習、身体拘束適正化研修、ポジショニング研修、サービスマナー研修、介護記録について、緊急対応、水分出納について、I C T機器研修、リスクマネジメント研修、福祉用具について	200人	28日

母子生活支援施設の事業報告

1 事業運営に関する報告

母子生活支援施設では、児童福祉法内施設として「母と子が安心できる場」の実現を基本理念に掲げ、今年度も「母の自立支援」「子どもの育ちへの支援」「親子関係を育むための支援」「施設退居後の生活の広がりへの支援」「児童虐待防止」を重点的に取り組んだ。

事業運営にあたっては、ファミリーソーシャルワークとケアワークの手法により、母と子が営む家庭生活を「丸ごと」側面的に支援をする姿勢で取り組んだ。

2 施設の利用状況（令和4年3月31日現在）

定員	入居世帯数	入居児童数	入居者合計	母親平均年齢
16世帯	11世帯	20人	31人	43歳

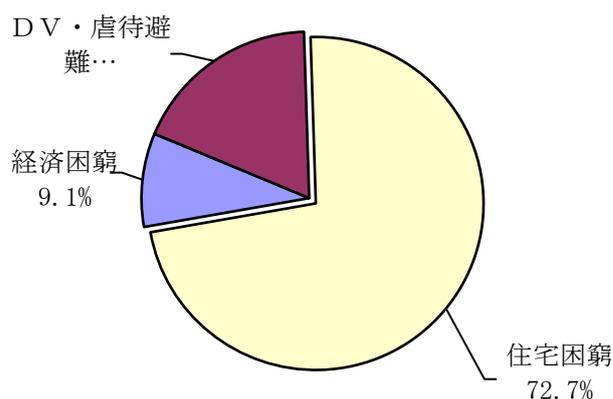
◆ 入居児童の内訳（令和4年3月31日現在）

乳幼児	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生	短大生/大学生 /専門学校生	合計
6人	1人	6人	5人	2人	0人	20人

◆ 世帯の内訳

	世帯数
2人世帯	5世帯
3人世帯	3世帯
4人世帯	3世帯
5人世帯	0世帯
6人世帯	0世帯
計	11世帯

◆ 入居理由



◆ 入・退居状況

	世帯数	人数（うち児童数）	退居世帯の平均利用期間
入居	9世帯	24人（14人）	1年7か月
退居	7世帯	19人（12人）	
<退居先> 都営住宅：2世帯、公営住宅：2世帯、民間：2世帯 その他：1世帯			

[月別入退居の動向]（月末世帯数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居世帯数	0	1	1	1	0	1	1	0	0	2	1	1
入居人数	0	3	3	2	0	2	3	0	0	5	4	2
退居世帯数	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
退居人数	9	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	4
総世帯数	6	7	8	9	8	9	9	9	9	11	12	11
在所人数	17	20	23	25	22	24	24	24	24	29	33	31

3 支援の状況

(1) 子どもの育ちへの支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入居児童	遊び支援	延人数	119	89	65	180	125	39	85	85	115	89	44	35	1,070
		時間	245	126	92	361	371	20	135	85	82	122	23	25	1,687
	学習支援	延人数	47	49	85	71	56	109	47	63	25	30	10	10	602
		時間	44	64	185	111	124	172	50	68	21	39	12	8	898
退居児童	遊び支援	延人数	26	25	16	18	0	1	14	20	36	23	1	6	186
		時間	27	38	14	35	0	2	21	42	68	42	1	6	296
	学習支援	延人数	11	26	2	18	4	16	40	63	54	25	14	16	289
		時間	20	40	33	24	7	23	65	121	77	39	31	15	495

ア 遊び支援

児童の遊び支援は、子どもの様子確認や要保護児童に関わる貴重な時間であり、遊びを通して楽しさを実感してもらった。コロナ禍で遊び時間の短縮や3密を避ける遊びなどの制限があったものの、心の安定を育む時間として有効であった。

イ 学習支援

学習支援は平日の18時15分から19時、長期休みは10時から11時に宿題を中心とした学習の習慣付けや学力の向上・補完を行った。また、今年度も生活福祉課の「学習応援事業」として、入居児童及び近隣の退居児童を対象に学習会を実施した。年間43回の開催で、延べ人数523人の参加人数があり、大きな学力向

上に繋がるとともに、参加世帯からも大変好評を得て、参加児童も定着していった。継続した学習支援では、NPO法人・キッズドアによる「イングリッシュ・ドライブ」もコロナ禍で実施回数は年6回と減少しつつも、英語を楽しみながら学ぶという勉強会であった。

昨年と同様に国の特別育成費として、対象となる児童がいる世帯に補習費として塾代を助成した。

(2) 安心した生活をするための支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入居児童	補助保育	延人数	25	11	9	7	4	1	14	12	5	2	0	4	94
		時間	40	3	11	9	8	6	16	12	3	1	0	3	112
	病児保育	延人数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
		時間	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
	登降園代行	延人数	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
		時間													

母と子が安全で安心して暮らせる「生活の場」の提供を第一の目標とし、以下の支援を行った。

ア 生活の場の提供

近年、施設建物老朽化に伴い、水回りや電気設備等の修繕工事が増えてきている。今年度は、居室の混合水栓交換工事、各居室トイレのコンセント設置工事、学習室のクロス貼り替え工事など居住環境の整備などの修繕を実施し、居住環境の保全に努めた。

イ 就労支援として、就労の継続のために保育園の登園・降園代行を行った。

また、家事や休息など母の必要に応じ補助保育を行い、母親の育児負担の軽減を図り、子どもとの生活時間が確保できるように取り組んだ。

ウ 同行支援

入居者の様々な生活課題を解決するために、社会資源の紹介や情報提供をし、必要に応じて専門機関の紹介とその関係先への同行支援を行った。

◆ 今年度に同行した専門機関等

- 区役所 ○保健相談所 ○病院 ○子ども家庭支援センター
- 外国籍入居者の学習塾、不動産屋、アパート内見同行

(3) 安定した心身を回復するための支援

[心理担当職員の実績]

		延人数（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども対応	場面観察	遊び	7	1	2	13	19	8	6	4	6	2	1	0	69
		補助保育	3	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	7
母親対応		面接	1	2	4	1	0	4	0	0	1	0	0	0	13
		軽面接	0	2	3	1	0	0	2	2	2	1	1	0	14
専門的助言		ケース会議参加	1	2	2	2	0	2	2	1	2	1	1	2	18

心理担当職員2人が交代で月8日勤務している。コロナ禍で緊急事態宣言やまん延防止措置が適用されたため学習室の利用制限があったものの、子どもに対しての遊びや学習を通じた場面観察が増加した。相談を希望する母親には引き続きアクリル板を設置する等の感染防止対策を施しながら面談を実施した。

また、ケース会議では心理学の専門的な視点で職員に助言することにより入居者の個性に即した支援に繋がった。

(4) 自立に向けての支援

ソーシャルワークの手法による自立支援を以下のプロセスで実施した。

入所前面談⇒入所時面談[自立支援計画策定]⇒6月合同面接[自立支援計画策定]⇒11月面接[自立支援計画策定]⇒見直しのサイクルで、入居者と共に自立支援計画を立て、自立に向けて支援した。小学生以上の子に対しても入所後に面談を持ち、主に学習に関しては計画を策定し支援した。

(5) 年間行事の実施状況

母や子の社会性を養い、親子の絆を深め、心身のリフレッシュを図ることを目的として各行事を行い、児童の健全育成を図った。今年度も、コロナ禍で予定していた遠足やお餅つき会などの行事が中止となり、例年実施していた会食行事も自粛した。感染防止の観点から入居者同士の接触を減らし、3密を避けるなど十分に配慮しながら、例年と違った行事形態に変更した。児童対象行事は、日本の伝統的な歳時や四季を味わえる企画を取り入れ、「コロナ禍でも入居者全員が楽しめる時間の提供」をテーマに心がけた。

また、母親向けの行事では、日常生活から開放される時間の提供を目的とし、十分な感染対策を講じた上で、講師を招いての「クリスマスリース作り」や「性教育講座」を実施した。

	全体行事	母親対象行事	児童対象行事	その他
4月		全員懇談会	入学・進級を祝う会(入学お祝い品配布) 子ども会	防災訓練 定期健診(母親)
5月			子どもの日・母の日を祝う会(カーネーション配布)	防災訓練
6月	遠足よみうりランド(中止)	定期面談(合同)		防災訓練 キッズ美容室
7月			七夕会(縁日のみ実施) 子ども会	防災訓練 居室点検
8月				防災訓練
9月			お月見(おはぎ配布) 子ども会	防災訓練
10月		教養講座:「性教育」		防災訓練 キッズ美容室 定期健診(母子)
11月		全員懇談会 定期面談 教養講座: 「クリスマスリース」	勤労感謝の日(子どもから母へ手作りスニーカーをプレゼント)	消防署職員の指導による救命訓練
12月	クリスマス(各居室へサンタがプレゼントを配布)			防災訓練 キッズ美容室 居室点検
1月	新春顔合わせ会			防災訓練
2月		全員懇談会(中止)	節分(豆まき、恵方巻配布、節分工作)	防災訓練
3月	お餅つき会(中止)	教養講座 「ヘアケア」(中止)	ひな祭り(ちらし寿司配布、ひな祭り工作)	防災訓練 キッズ美容室

(6) アフターケア(退居世帯に対し)

ア 母親支援

退居世帯には、在所中に退居時面談を実施し、退居後の生活についての支援内容を本人とともに検討しアフターケアとして取り組んだ。今年度も母から子ども対応への相談が多くあり、来訪相談や家庭訪問・電話対応などできる範囲で対応した。退居後に問題が発生した世帯には職員間で再検討し、切れ目のない支援を目指した。児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」「キッズ美容室」などへの参加を呼びかけ、退居世帯の状況も把握することができた。その他に、奨学金制度や都営住宅の募集などの情報提供、親子の遊び場所、退居児童の学習場所など、アフターケアで施設を利用する機会が増加した。

[退居者の支援の実績]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	延人数（人）	23	21	27	18	3	9	18	16	20	7	8	8	178
	うち心理担当 職員対応（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち心理担当 職員対応（時間・分）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話（延人数）		27	23	17	12	31	15	19	18	14	10	20	13	219

イ 子ども支援 【表1】

退居児童も入居児童と区別することなく支援をした。児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」などへの参加を呼びかけ、参加する児童も多かった。施設を利用する退居児童も増加し、年々定着してきている。その他に、児童の居場所としての利用や要保護児童に対するアプローチも継続して行い一定の成果を上げた。

(7) 安全・防災管理

災害に対しては、防災訓練を毎月実施し、11月には消防署職員からの実地指導を受けた。

今年度は、施設内に発電機を購入し、飲料水や食料など備蓄品も増量して、災害対策をより一層強化した。入居世帯毎にも緊急持ち出し袋を配置し、有事に備えてもらっている。

(8) 関係機関と地域の理解・協力

例年、支援関係者との協働ネットワークの構築の一つとして、渋谷区要保護児童対策地域協議会に参加していたが、今年度は、コロナ禍で開催が中止となった。個別ケースの要対協議会には参加し、関係機関との連携を図った。地域交流行事「お餅つき会」は、昨年引き続きコロナ禍で開催を中止した。

(9) その他

ア ボランティアの受け入れ

ボランティアの協力は事業の質の向上や入居者の安全の確保のために大変効果的であった。今年度もしゅやボランティアセンター、実習受け入れ校などに依頼した。協力者には事前に施設の機能や事業内容についての説明を行い、継続的な参加も得られた。

学習支援ボランティアではNPO法人・キッズドアの協力により小学生から高校生の児童を対象とした「イングリッシュ・ドライブ」の実施が定着し、学習指導ボランティアと受講生との交流が深まった。児童にとって、家族以外の社会人との交流の機会は、学習効果とは別に大変意義深いものであった。その他、「キッズ美容室」を実施するにあたって、昨年と同様にカットボランティアにも協力をしてもら

らい、入退居者には大好評だった。

コロナ禍で生活困窮している世帯に対し、昨年に引き続き生活福祉課を通じて「フードバンク渋谷」より定期的な食料品の無償提供があった。

また、施設行事に母親が安心して参加できるような行事開催時の補助保育についても、ボランティアの協力を得られた。

	学習指導	教養指導	行事・保育	施設整備	合計
延人数	18人	13人	5人	0人	36人

イ 実習生の受入

社会福祉人材の育成のため、保育士実習生の受入を行った。

保育士養成校：8校

実習生：13人

延実習期間：104日間

4 職員配置（令和4年3月31日現在）

	施設長	母子支援員	少年指導員	合計	総合計
正規職員	1人	3人	1人	5人	6人
非正規職員		1人		1人	

※ 施設長は、母子支援員1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（心理担当職員）

5 勤務体制

職員は1か月毎の勤務割表により、週平均40時間勤務する。

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
平日	7:30 ————— 16:15																	
	8:30 ————— 17:15																	
	9:00 ————— 17:45																	
	9:30 ————— 18:15																	
	10:15 ————— 19:00																	
	11:15 ————— 20:00																	
土日	8:30 ————— 17:15																	

※ 祝祭日・年末年始は休日である。（ただし、5月4日・12月30日・1月2日は勤務した。）

※ 夜間は警備員を配置している。

6 職員研修

(1) 施設外研修

職種	研修内容
施設長	・全国社会福祉協議会：施設長研修
母子支援員	・全国社会福祉協議会：性的虐待 ・東京都社会福祉協議会：災害時福祉専門職連携 ・母子福祉部会：新任研修・合同研修 ・母子福祉部会従事者会：研修会 ・特別区：広域利用

渋谷区生活実習所つばさの事業報告

1 事業運営に関する報告

生活介護事業として、利用者の日々の生活、活動支援を中心に事業を推進し、年間事業計画に基づく各種の行事や活動を実施した。また、個別支援計画のもと、日中活動を通じて個々の利用者が必要とする支援を行った。

運営に当たっては、次の基本理念に従い、事業を展開している。

ア 共に生きる社会の一員として利用者の意思と人格を尊重し、自立した個人としての人権を守る。

イ 地域で豊かな社会生活を送るために必要とするサービスを提供する。

ウ 地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。

2 利用定員 20人

3 事業実施状況

(1) 施設の利用状況 (令和4年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
在籍者数	19人	19人	19人	18人	18人	18人	18人
支援日数	21日	18日	22日	20日	21日	20日	22日
延出席者	286人	244人	278人	261人	254人	268人	286人
出席率%	71.1%	71.3%	66.5%	72.5%	67.2%	74.4%	72.2%
送迎バス	19人	19人	19人	18人	18人	18人	18人

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
在籍者数	18人	18人	18人	18人	18人	平均在籍者数	18人
支援日数	19日	20日	19日	18日	22日	支援日数計	242日
延利用者	264人	284人	245人	223人	273人	延出席者数	3,166人
出席率%	77.2%	78.9%	71.6%	68.8%	68.9%	平均出席率	72.7%
送迎バス	18人	18人	18人	18人	18人	平均乗車人数	18人

- ※ 「新型コロナウイルス感染症蔓延防止等重点措置」等のため、利用の自粛があった。
- ※ 12月初旬より女性利用者1人が脳梗塞発症のために長期入院となっている。
- ※ 6月4日付で男性利用者1人が、区内新規生活介護へ移籍したため契約終了となった。
- ※ 休業日は、土曜日及び日曜日と国民の祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日）

(2) 利用者の年齢と性別 (令和4年3月31日現在)

	～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～	合計	平均
男性	0人	2人	2人	3人	0人	3人	10人	32.0歳
女性	0人	3人	0人	0人	2人	3人	8人	34.4歳
合計	0人	5人	2人	3人	2人	6人	18人	33.1歳

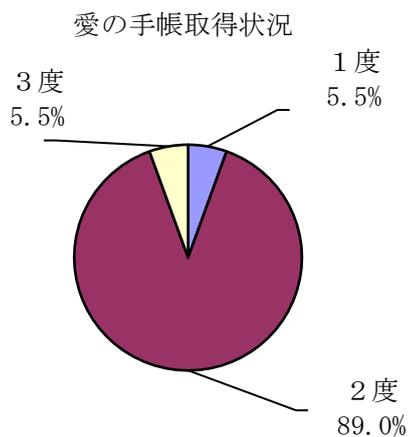
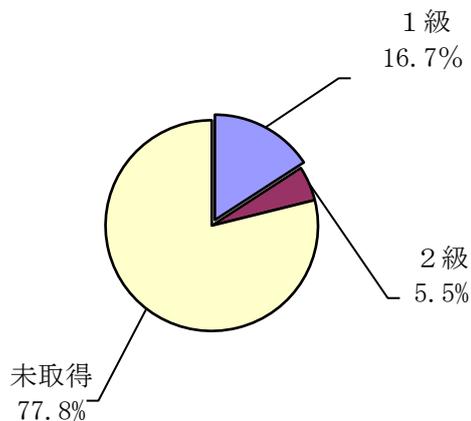
(3) 利用者の障害程度 (令和4年3月31日現在)

障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
男性	5人	5人	0人	0人	0人	0人	10人
女性	3人	3人	2人	0人	0人	0人	8人
合計	8人	8人	2人	0人	0人	0人	18人

区分		身体障害者手帳				合計
		1級	2級	3級	未取得	
愛の手帳	1度	0人	0人	0人	1人	1人
	2度	2人	1人	0人	13人	16人
	3度	1人	0人	0人	0人	1人
	4度	0人	0人	0人	0人	0人
	未取得	0人	0人	0人	0人	0人
合計		3人	1人	0人	14人	18人

身体障害者手帳取得状況



(4) 入所前の状況（令和4年3月31日現在）

学校在学	他の福祉施設	在宅	合計
特別支援学校			
15人	3人	0人	18人

(5) 年間行事等実施状況

※ P T：理学療法士

月別	行 事 (実施日)	講師プログラム	安全衛生	その他
4月	誕生会 (8日)	機織り、機能訓練 運動 (ヨガ)、P T	内科・精神科検診 検便	避難訓練 (地震)
5月	誕生会 (20日)	機織り、運動 (ヨガ) P T	内科・精神科検診	家族会 (中止)
6月	梅雨のお茶会 (3・4日) バスハイク (7・8・10日)	機織り、運動 (ヨガ) 機能訓練、音楽療法 P T	内科・精神科検診	個人面談 避難訓練 (火災)
7月	七夕・浴衣会 (8・9日) 誕生会 (20日) バスハイク (14・15日)	機織り、運動 (ヨガ) 音楽療法、P T	内科・精神科検診	家族会 (中止)
8月	誕生会 (17日)	音楽療法、機織り 運動 (ヨガ)、P T	内科・精神科検診 新型コロナウイルス スワクチン接 種	避難訓練 (地震) 災害用伝言ダイヤル
9月	誕生会 (9日) バスハイク	機織り、P T	内科・精神科検診 健康診断	災害用通報訓練
10月	誕生会 (8日) つばさまつり (29・30日)	機織り、運動 (ヨガ) 機能訓練、音楽療法 P T	内科・精神科検診 検便、歯科検診	家族会 (中止) 避難訓練 (地震)
11月	誕生会 (12日) ランチパル (中止)	音楽療法、運動 (ヨ ガ)、機織り、創作 (美 術)、P T	内科・精神科検診 インフルエンザ予 防接種	避難訓練 (火災・バ ス乗込み訓練)
12月	誕生会 (2日) クリスマス会 (24日)	音楽療法、運動 (ヨ ガ)、美術、機織り 機能訓練、P T	内科・精神科検診	
1月	新年を祝う会 (14 日) 誕生会 (21日)	音楽療法、機織り P T、運動 (ヨガ)	内科・精神科検診	
2月	節分 (1日) ハッピーバレンタイン (14 日)	音楽療法、運動 (ヨ ガ)、機能訓練、P T	内科・精神科検診	家族会 (中止) 避難訓練 (火災)
3月	誕生会 (7日) 納め会 (25日) お花見 (28日)	音楽療法、運動 (ヨガ) 機織り、P T	内科・精神科検診 コロナワクチン接 種	

※ 利用者6人が、週に3～4日の通所希望のため「つばさまつり」等一部の行事を複数回実施することで利用者全員が体験して楽しめるように工夫をした。

※ 内科検診と精神科検診、P Tの訓練指導は、定期的に継続した。また、新型コロナウイルスワクチン接種及びインフルエンザ予防接種を施設内で実施した。

※ 9月は施設全館の空調が故障したため、小グループに分かれてバスハイク16回とはつらつセンターを11日間借室して活動をした。非日常的空間ではあったが、コロナ対策と熱中症対策を徹底して安全に過ごすことが出来た。

(6) 活動の実施状況

本人、家族、代理人、関係機関との文書と面談、電話等による綿密な調整により年度初めに個別支援計画を策定し、半年後にはモニタリングにより見直しをすることで、利用者の特性に適応した日中活動を提供した。

項目	内容
健康に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断を実施した。 ・歯科検診を実施した（歯科通院困難者対象）。 ・内科医、精神科医による検診を月1回実施した。 ・新型コロナワクチン接種及びインフルエンザ予防接種を施設内で実施した。 ・昼食時の服薬管理と服用支援を行った。 ・月1回の体重測定を行った。 ・栄養士が栄養相談と嗜好調査を実施して、家庭での食事状況と本人と家族からの希望を把握し給食支援に反映した。 ・言語聴覚士による口腔機能改善の取り組みは、コロナ禍のため延期とした。 ・理学療法士による身体機能維持に向けての助言・指導の充実を図った。 ・リンパマッサージや血行促進のための足湯等を必要な利用者を実施した。
日常生活に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝利用者の身体機能に応じた「つばさ体操（オリジナル）」を実施した。 ・日常生活動作機能の維持向上のために機能訓練とストレッチ体操を実施した。 ・食事、排泄、着脱衣等の生活動作の介助、支援を行った。
コミュニケーション・対人関係に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活における基本的な約束事（順番を待つ・守る、自他の所有物の区別等）を理解し行動できるように支援した。 ・個人の特性を大事にしながらも「みんなの中の一人」としての行動が出来るように支援をした。 ・感情のコントロール、自傷や他害行為の減弱に向けての支援を実施した。 ・コミュニケーション・ツールとして、マカトンサインや写真などを活用した。
日中活動・社会参加に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーズ、機織り、和紙、創作活動を通じて楽しみながら、集中力や達成感を得られるように配慮ある支援をした。 ・製パン活動では、一般販売と区内こども園へアレルギー対応として納品した。3月には、近隣の保育園で卒園式の記念品として提供する機会を得た。 ・「つばさまつり」において製品を販売し、収益を支給金として利用者に還元した。 ・音楽療法では、発散による情緒的安定と自己表現やコミュニケーションを楽しむなどの社会性が身につく活動を取り入れた。 ・講師（月1回程度）の指導による皆で参加する活動と、利用者の特性を活かした個別の活動をバランスよく提供した。 ・プール活動は中止し、それに代わる運動プログラムを充実させた。 ・利用者個人の体力や体調に合わせて、外気浴から2km程度のウォーキングを計画的に実施した。 ・年間計画ある行事全利用者が楽しめるように工夫して実施した。
生活基盤・家族支援に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への昼食サービスを提供した。 ・送迎バスによる送迎サービスを実施した。 ・緊急一時保護施設や短期入所施設の利用時の送迎バスサービスを実施した。 ・家族が安心できるように個別面談を実施し、同意の上で保護施設や居宅介護事業所との綿密な連絡を図り、利用者の健康や安全、情緒の安定に配慮した。 ・日常的に家族への「お知らせ」の配布と、電話等での綿密な連携を心掛けた。

4 ボランティア及び実習生の受け入れ

- (1) 地域高齢者の昼食提供を含めたボランティアと地域住民温水プールでの水泳指導ボランティア等地域に親しまれる開かれた施設の活動は、感染予防により中止とした。
- (2) 人材育成に寄与することを目的に実施していた教員免許、公認心理師等の資格取得のための演習・実習は中止となったが、保育士資格取得のための実習と進路選択のための特別支援学校2・3年生の実習及び地域生活移行に向けた実習を受け入れた。

実習種別	実習体験 (特別支援学校)	地域生活移行のため の実習(施設等より)	保育士資格取得の ための実習(大学)	職場体験 (中学校)	合計
延人数	4人	1人	1人	1人	7人
延べ日数	10日	4日	12日	3日	29日

5 職員研修

(1) 職員育成のための外部オンライン研修

「行動障害の支援(意思決定支援)」「虐待防止・権利擁護」「障害児者のための栄養ケアマネジメント」「障害者施設等の新型コロナウイルス感染症防止対策」「かわり方のコツ」「給付費請求業務の基礎知識」等をオンライン配信研修で視聴・受講した。

(2) 虐待防止及び合理的配慮に関する所内伝達研修

障害者虐待防止法に関する研修は、外部研修を受講した職員が全職員を対象に所内研修し、合理的配慮を具体的に言語化して伝え合うスキルの獲得を目指した。

(3) 感染症及び震災・大規模災害に関する事業継続計画(BCP)に関する研修

感染症対応マニュアル及び震災・大規模災害対応マニュアルを見直し、事業継続計画(BCP)による危機体制に関して事業所内情報共有を図った。

6 施設管理に関する報告

(1) 建物・設備等の維持管理

建物・設備・機器類については、保守業者等に委託して定期的及び必要に応じて整備点検を行い、良好な施設環境を保つことに努めた。床暖房空気抜弁の交換、照明安定器の取替、自動ドア部品(プーリー)交換、厨房水道栓の修繕、壁紙の張替、トイレ扉の修繕、洗濯機用防水パン取替、パーティションのキャスター取替、床面カーペット張替等を実施した。また、全館において空調機の故障が起き、復旧に1か月を要したため、感染症予防のための換気徹底を含めて大変苦慮した。

(2) 防災体制

消防設備・器具の定期点検及び防災教育の徹底を図るために、年間防災計画に基づく避難訓練を行った。防災会議を年3回開催した。

グループ活動で外出している際に、災害(地震)が起こった場合を想定しての通報訓

練及び避難場所からのバス乗車訓練も取り入れた。タタメット、防災頭巾、寝袋等の防災用具の使用方法を利用者と職員の全員が体験を通して確認をした。

実施月	訓練実施日	内容
4月	9・12日	避難訓練（地震）、防災備蓄を使用した給食
6月	25・28日	避難訓練（火災想定）
8月	避難訓練2日 通報30・31日	避難訓練（地震想定） 伝言ダイヤル（家族向け）
9月	通報1日	伝言ダイヤル（家庭向け） 防災備蓄を使用した給食
10月	11・15日	避難訓練（地震想定）
11月	19日	避難訓練・バス乗込み訓練（火災想定）
2月	7日	避難訓練（火災想定）、防災備蓄を使用した給食

（3）災害時要援護者対策二次避難所としての整備

要援護者に対する二次避難所としての環境整備等を防災課及び障がい者福祉課と連携して検討・準備を進めた。

7 職員配置（令和4年3月31日現在）

	施設長	事務	生活支援員	栄養士
正規職員	1人	1人	6人	
非正規職員			4人	1人
	看護師	合計	総合計	
正規職員		8人	14人	
非正規職員	1人	6人		

※ 施設長は、事務1人

※ 生活支援員のうち1人は、サービス管理責任者

※ 正規職員のうち生活支援員1人が育休取得中、生活支援員1人が病気休職中

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（生活支援員・調理）

8 勤務体制

勤務体制は、午前8時30分から午後5時15分までである。

渋谷区立幡ヶ谷授産場の事業報告

I 幡ヶ谷授産場

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷授産場は、社会福祉法に基づき設置された授産施設である。施設の設置主旨に従い、高齢者や低所得者に対して仕事と場所を提供し、安全かつ効率的に作業ができるように指導した。このことを通して、利用者の生活の安定と生きがいを得られるように配慮して運営した。

また、作業に関しては、次のような点に留意した。

- (1) 危険性、有害性、不快感がなく、安全であること
- (2) 作業内容が複雑でなく短時間で習得できること
- (3) 作業内容に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (4) 作業が肉体的に過重な負担とならないこと

2 利用定員

◆ 場内作業利用定員 30人

3 利用者の内訳（令和4年3月31日現在）

利用資格	簡易作業		
	場内	居宅	計
60歳以上の者	22人	—	22人
（うち生活保護受給者）	(1人)	—	(1人)
低所得者	1人	—	1人
（うち心身障害者）	(1人)	—	(1人)
計	23人	—	23人

4 作業状況（令和4年3月31日現在）

作業種別	場内			居宅			計		
	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人員	年間工賃支払額
簡易作業	23人	258人	13,694,815円	0人	0人	0円	23人	258人	13,694,815円

5 防災体制

消防計画に基づき、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所と連携し、総合防災訓練を行った。

6 職員配置（令和4年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	4人	7人
非正規職員			3人	3人	

※ 施設長は、職業指導員1人

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談

(2) バス旅行によるレクリエーション

10月に実施予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止した。

II 幡ヶ谷のぞみ作業所

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷のぞみ作業所は知的及び身体障害者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。

利用契約をした障害者の方に、就労機会を提供するとともに、生産活動及びその他の活動の提供を通じて、地域で円滑な社会生活を営むことができるよう支援を行っている。

2 利用定員

20人

3 利用状況

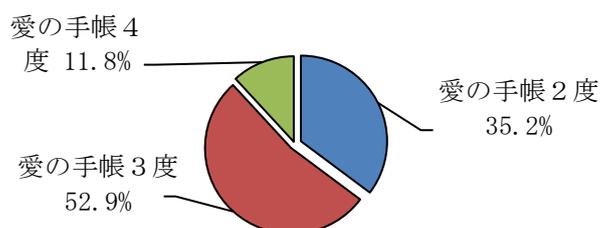
(1) 利用者の年齢と性別（令和4年3月31日現在）

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	合計	平均
男性	1人	1人	7人	1人	0人	0人	10人	41.4歳
女性	2人	2人	2人	1人	0人	0人	7人	37.1歳
計	3人	3人	9人	2人	0人	0人	17人	39.6歳

(2) 利用者の障害程度（令和4年3月31日現在）

	愛の手帳			合計
	2度	3度	4度	
男性	4人	5人	1人	10人
女性	2人	4人	1人	7人
計	6人	9人	2人	17人

利用者の障害程度



※ 上記愛の手帳3度持参の男性1人は身体障害2級と重複

※ 上記愛の手帳3度持参の女性1人は身体障害4級と重複

4 作業状況（令和4年3月31日現在）

作業種別	従事人数	延実働人数	年間工賃支払額
簡易作業	17人	207人	2,232,108円
公園清掃	(17人)	(143人)	1,052,562円
自主製品	(13人)	(156人)	105,930円
植木剪定等役務作業	(6人)	(13人)	39,600円
シブヤフォント	(16人)	(131人)	61,120円
計	17人	207人	3,491,320円

5 年間行事実施状況

利用者相互の親睦を図るとともに、自主・自立の心を育成してゆくため以下のとおり年間行事を実施した。

	行 事
4月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・歓迎会・さをり織り
5月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・さをり織り（社会見学は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
6月	療育音楽会・共遊球技・さをり織り（食事会は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
7月	療育音楽会・共遊球技・新型コロナワクチン（第1回目）接種（希望者のみ）・（自然探索会は新型コロナウイルス感染予防のため中止）

8月	共遊球技・さをり織り・夏祭り・新型コロナワクチン（第2回目）接種（希望者のみ）
9月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・スポーツ大会（渋谷区スポーツセンター）・さをり織り
10月	療育音楽会・共遊球技・さをり織り・インフルエンザ予防接種（希望者のみ） （日帰りバス旅行は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
11月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・さをり織り・ささはたカフェ参加（障害者連団体連 合会運動会は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
12月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・さをり織り・「庁舎まるごと美術館」見学・クリスマス会&納め会
1月	療育音楽会・誕生会・共遊球技・さをり織り・初詣・新年抱負発表会・新成人を祝う会 &新年会
2月	誕生会・共遊球技（ボウリング大会は新型コロナウイルス感染予防のため中止）
3月	さをり織り・お疲れ様会・新型コロナワクチン（第3回目）接種（希望者のみ）

さをり織りはボランティアを招いて実施した。

保護者会	年間1回（10月）
------	-----------

6 防災体制

渋谷区立幡ヶ谷授産場と連携して総合避難訓練を実施した。

7 職員配置（令和4年3月31現在）

	施設長（兼務）	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	3人	7人
非正規職員		2人	2人	4人	

※ 渋谷区立幡ヶ谷授産場の施設長が、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所の施設長を兼務する。

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者。

8 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

9 健康管理

年1回の健康診断を実施した。

嘱託医による月1回の健康相談を実施した。

渋谷区立新橋作業所の事業報告

1 事業運営に関する報告

新橋作業所は、渋谷区条例に基づき、障がい者及び高齢者等の福祉の増進に寄与するために設置された作業所である。

障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。また、併せて、高齢者等を対象とした物品の受託加工等事業を行っている。

利用契約した障がい者及び利用承認された高齢者等の方に、就労機会の提供等を行うことにより、その自立を助け、生活の安定を図ることを目標に運営した。

また、作業に関しては、次の事柄に配慮した。

- (1) 危険性、有害性等がなく、作業が安全であること
- (2) 加工材料に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (3) 障害等の程度に応じて作業の質、量の配分をすること
- (4) 納期までに確実に履行すること

2 利用定員

- ◆ 障がい者（B型事業） 25人
- ◆ 高齢者等 10人

3 利用者状況（令和4年3月31日現在）

(1) 利用者の内訳

利用資格	人数	人数の内訳	
障がい者	20人		
高齢者等	8人	60歳以上の者	7人
		区長が適当と認めた者等	1人
計	28人		

(2) 利用者の年齢と性別

		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計	平均
		障がい者	男性	2人	1人	1人	1人	2人		
女性	1人		3人	2人	3人	0人	3人	0人	12人	52.1歳
合計	3人		4人	3人	4人	2人	4人	0人	20人	50.3歳
高齢者等	合計	0人	0人	0人	1人	0人	3人	4人	8人	74.9歳

(3) 利用者の障害程度

		身体障害者手帳					合計
		1級	2級	3級	4級	なし	
愛 の 手 帳	2度						0人
	3度	1人				4人	5人
	4度	1人	1人		1人	11人	14人
	なし			1人			1人
合計		2人	1人	1人	1人	15人	20人

4 作業状況（令和4年3月31日現在）

作業種別	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	B型平均工賃	高齢者等平均工賃
簡易作業	28人	322人	※12,810,054円	31,178円/月	63,024円/月

※ 令和元年度の約82.1%、令和2年度の約14.8%増

※ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、作業場所及び昼食場所を分散させるとともに、利用者・保護者の理解も得て、朝の混雑を避けるため始業時間を10時に繰下げ、終業時間も最長15時30分または作業終了時とした。

5 防災体制

消防計画に基づき、年2回（6月、2月）の独自避難訓練を行った。新型コロナ感染予防対策上、6月は少人数ずつでの避難訓練のみ実施。2月は、職員は机上訓練、利用者は避難訓練を行った。

また、1月17日に所内で、開所時における緊急災害時の対応について説明した。

※ 3日分の食料及び飲料水を備蓄（全利用者及び全職員分）。

6 職員配置（令和4年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	2人	6人	10人
非正規職員			3人	1人	4人	

※ 施設長は、事務1人

※ 正規職員の職業指導員のうち1人はサービス管理責任者

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談を毎月2回実施

(2) レクリエーション行事の実施

- ◆ バス旅行 例年は秋に実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染予防対策上中止とした。
- ◆ その他 近隣商店街へのお弁当購入、お散歩会（中目黒駅まで）、また、所内で、七夕、お月見（十五夜）、クリスマス会（ケーキと飲み物）、新年食事会（お弁当の配達やデザート等を購入して所内で飲食）、節分（ダーツゲーム大会）、桃の節句等を実施。

認定こども園・保育園の事業報告

事業団は、渋谷区の待機児童の解消に寄与するとともに、次世代を育成するという渋谷区の重点施策に応えるために、「良質な保育、幼児教育」を保障し、就学前のすべての子どもが「基礎的な生活習慣や社会性、礼儀」を身につけ、学習の基礎となる「好奇心、探究心、思考力や豊かな感性」の涵養を図った。これにより、保育所型認定こども園「神宮前あおぞらこども園」「本町きらきらこども園」「恵比寿のびのびこども園」「本町そよかぜこども園」の4園及び認可保育所「神宮前保育園にじ」「西原保育園ゆめ」の2園を運営している。

事業団が運営するこども園や保育園では、入園児すべてに「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「渋谷区就学前教育プログラム」等に基づいた良質な保育・教育の提供を一体的に行っている。

子育て支援事業「ひろば事業」は9年目を迎え、一時保育、子育て広場、体験給食、保育体験、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談などを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度の登録者数や利用者数は大きく減った。

現在、保育現場が抱える大きな課題として、保育士の人材を確保して育成すること、保育施設を見える化するなどがあげられる。これらに対応するため、大学の授業に出向き、事業団の保育について説明し、面接指導も行うなどして学校とのつながりを大切にしてきた。今年度は昨年度に引き続き、一部オンラインも取り入れて実施した。

I C T化については、連絡帳アプリ、事務作業等を効率化する保育管理業務システム及び0歳児クラスのうつぶせ寝に反応するベビーセンサーを活用したほか、インターネットを利用した写真の販売を全園で導入した。

また、事業団の保育人材確保、定着及び離職防止を図るため、平成28年度に開始した宿舍借上げ支援事業については、今年度は47人の職員が利用した。

さらに、平成29年度から始めた海外研修について、平成30年度及び令和元年度はイタリアのレッジョ・エミリア市を訪問し、国内においても応答的保育、環境整備等を先駆的に実施している保育施設を視察するなど研修の充実も行った。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、今年度は令和4年1月、応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を視察した。

なお、一部の保育園において、令和4年1月20日から複数の職員や園児が新型コロナウイルス感染症の陽性者となり、園は1月25日から31日までの間、臨時休園となった。

職員に対しては従前より行っていた健康観察表の記載、園内各所に消毒液を配置、室内や遊具等の消毒について徹底するとともに保護者に対しては一層の健康観察をお願いした。

1 職員採用

第1次募集	筆記試験	令和3年9月4日
	面接・実技試験	令和3年10月21日～23日
第2次募集	筆記試験	令和3年11月6日
	面接・実技試験	令和3年11月12日～13日
第3次募集	筆記試験	令和4年1月29日
	面接・実技試験	

※ 応募者40人、受験者31人、令和4年4月1日付採用者9人（保育士）

2 園児定員

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				5人	5人	5人	15人
計	10人	18人	20人	25人	25人	25人	123人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				4人	5人	6人	15人
計	10人	18人	20人	24人	25人	26人	123人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				2人	4人	4人	10人
計	10人	18人	20人	22人	24人	24人	118人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				3人	5人	5人	13人
計	10人	18人	20人	23人	25人	25人	121人

(5) 神宮前保育園にじ（長時間保育のみ）

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児		6人	9人	10人	10人	10人	45人

(6) 西原保育園ゆめ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	16人	20人	20人	20人	20人	106人

※ 2号・3号認定児は長時間保育利用児、1号認定児は短・中時間保育利用児。

3 在籍数の推移

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	98人	98人	97人	99人	100人	101人
1号認定児	9人	9人	9人	7人	7人	7人
計	107人	107人	106人	106人	107人	108人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	98人	98人	101人	102人	102人	102人	1,196人
1号認定児	8人	8人	8人	8人	8人	8人	96人
計	106人	106人	109人	110人	110人	110人	1,292人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	107人	107人	107人	108人	108人	108人
1号認定児	15人	15人	15人	15人	15人	15人
計	122人	122人	122人	123人	123人	123人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	108人	108人	108人	108人	108人	108人	1,293人
1号認定児	15人	15人	15人	15人	15人	15人	180人
計	123人	123人	123人	123人	123人	123人	1,473人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	105人	107人	104人	104人	105人	105人
1号認定児	12人	12人	12人	12人	12人	12人
計	117人	119人	116人	116人	117人	117人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	106人	105人	106人	106人	106人	106人	1,265人
1号認定児	12人	12人	12人	12人	12人	12人	144人
計	118人	117人	118人	118人	118人	118人	1,409人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	105人	107人	107人	107人	108人	106人
1号認定児	13人	13人	13人	13人	13人	13人
計	118人	120人	120人	120人	121人	119人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	107人	107人	107人	106人	106人	106人	1,279人
1号認定児	13人	13人	13人	13人	12人	12人	154人
計	120人	120人	120人	119人	118人	118人	1,433人

(5) 神宮前保育園にじ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	33人	33人	33人	32人	34人	34人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	32人	32人	31人	32人	32人	32人	390人

(6) 西原保育園ゆめ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	101人	101人	105人	105人	105人	106人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	106人	106人	107人	107人	107人	107人	1,263人

4 職員配置 (令和4年3月31日現在)

施設	職種	園長	事務	看護師	保育士	用務	合計	総合計
あおぞら	正規職員	1人		1人	25人		27人	38人
	非正規職員		1人		8人	2人	11人	
きらきら	正規職員	1人		1人	24人		26人	35人
	非正規職員		1人		7人	1人	9人	
のびのび	正規職員	1人		1人	25人		27人	35人
	非正規職員		1人		6人	1人	8人	
そよかぜ	正規職員	1人		1人	23人		25人	32人
	非正規職員				6人	1人	7人	
にじ	正規職員	1人			9人		10人	12人
	非正規職員				2人		2人	
ゆめ	正規職員	1人		1人	21人		23人	27人
	非正規職員				3人	1人	4人	
計	正規職員	6人		5人	127人		138人	179人
	非正規職員		3人		32人	6人	41人	

※ 園長は、保育士6人

※ 正規職員の保育士のうち育休取得中が8人、産休取得中が2人、病気休職中が1人、病気休暇取得中3人。

※ 非正規職員の保育士のうち産休取得中が1人

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（事務、看護師、保育士）

5 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23													
保育士	A							7:25	—————																16:10													
	B							7:45	—————																16:30													
	C							8:00	—————																16:45													
	平常							8:30	—————																17:15													
	D							9:00	—————																17:45													
	E							9:30	—————																18:15													
	F							10:00	—————																18:45													
	G								11:00	—————																19:45												
H									12:00	—————																20:45												
看護師	平常							8:30	—————																17:15													
用務	平常							8:30	—————																17:15													

6 年間行事実施状況

例年であれば、日本の伝統文化の継承や季節に合わせた行事を取り入れ、次のような年間の行事を計画し実施しているところだが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったものもあった。

(1) こども園・保育園の共通年間行事

	行事名	ねらい	内容
4月	入園進級お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> 新しい友達を知る。 入園、進級を喜び、みんなでお祝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス、子ども、職員の紹介 お楽しみの催しもの（パネルシアター・紙芝居など）
5月	こどもの日の集会	<ul style="list-style-type: none"> こどもの日の由来を知る。 友達と一緒に体を動かし、ゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの製作物紹介 体操、ゲームなど
7月	縁日ごっこ 夏まつり (園児のみ参加)	<ul style="list-style-type: none"> 親子で縁日ごっこに参加し、地域の人と一緒に楽しく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 手づくりおもちゃコーナー お店屋さん、レストラン 盆踊り 夕方または土曜日に実施
	七夕の集会	<ul style="list-style-type: none"> 七夕について知り、楽しんで集会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 七夕の由来 パネルシアター

	プール開き (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・プールでの約束事を知る。 ・プール遊びを友達と楽しむことに期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇鑑賞 ・体操、ゲーム
8月	すいか割り	<ul style="list-style-type: none"> ・すいか割りをみんなで楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児、幼児に分かれてすいか割り
10月	運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で体を動かし、楽しい1日を過ごす。 ・一人ひとりの子どもが力を発揮し、みんなで成長を喜び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング ・体操、競技、遊戯 ・地域競技
	バス遠足 (3歳～5歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然の中で園外保育を楽しむ。 ・秋の自然を感じながら芋ほりを楽しむ。 ・他園の友達とバス遠足を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行き先は昭和記念公園、荒幡農園など ・実施日が雨天の場合は、水族館などに変更
12月	幼児親子お楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> ・歌や劇ごっこなど、年齢ごとにねらいを持ち表現する。 ・保護者に見守られながら表現遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会 ・職員による出し物 ・園児、保護者、職員のみんで楽しんで
	年末こども会	<ul style="list-style-type: none"> ・集会を楽しみ、クリスマスの雰囲気を楽しむ。 ・会食、おやつを異年齢児と過ごすことで交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会、会食 ・キャンドルサービス ・クリスマスの製作の紹介 ・サンタからお楽しみプレゼント
1月	新年子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい年の始まりを祝う。 ・お正月遊びや伝承遊びを知り楽しむ。 ・もちつきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集会、獅子舞 ・十二支の由来 ・年長による書き初め ・お正月遊び
2月	節分	<ul style="list-style-type: none"> ・節分について知る。 ・豆まきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節分の由来 ・ゲーム、豆まき
3月	ひな祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りについて知る。 ・お茶会や会食を通じて、異年齢児の交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りの由来 ・集会、ゲーム ・お雛様の製作紹介 ・会食、お茶会
	お別れ遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・春の訪れを感じ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ。 ・みんなで楽しい思い出を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス年長児との触れ合い遊び ・幼児クラスオリエンテーリング ・行き先は代々木公園などで、雨天の場合は園内に変更
	就学お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児をみんなで祝う。 ・就学に期待を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域、来賓、在園児で就学のお祝い ・年長児の保護者体験給食
	お別れ会	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園、退園する園児や異動、退職する職員とお別れをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園、退園する園児や異動、退職する職員を紹介

※ 上表のほか、敬老の日は在園児の祖父母に園から敬老カードを送付した。

(2) 小学校等の連携について

5園では就学に向けてのオープンスクールに参加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により回数は昨年度と同様、令和元年度よりも大きく減った。神宮前あおぞらこども園は神宮前小学校に2回、本町きらきらこども園は渋谷本町学園小学校に2回、本町そよかぜこども園は渋谷本町学園小学校に2回、神宮前保育園にじは神宮前小学校に3回、西原保育園ゆめは西原小学校に2回参加した。

<例年実施している主な内容>

テーマ	内 容
学校訪問 (実施園あり)	・小学校がどんな場所なのかを実際に見学、探検した。 ・通学路を確認した。
1年生と一緒に学ぶ (実施園あり)	・机や椅子の大きさを体験した。 ・音楽、国語、算数、英語、体育、図工などの授業を見学し参加した。 ・図書室で読書をした。
楽しく英語で遊ぼう (実施園あり)	・ALT（外国語指導助手）とのコミュニケーションを楽しんだ。
体育館で遊ぼう (実施園あり)	・大きな体育館で、運動遊びをした。
プールで遊ぼう (全園未実施)	・小学校の大きなプールで安全に泳いだ。
体験給食 (全園未実施)	・小学校の給食の形態や食器の違い、給食時間などを体験した。 ・栄養士の話聞いた。
様々な行事に参加する (実施園あり)	・学習発表会、学芸会、作品展、パレードを見学した。
放課後クラブ訪問 (実施園あり)	・放課後クラブを体験した。
園訪問 (全園未実施)	・こども園や保育園に小学生が訪問した。 ・小学校の先生より保護者会で就学に向けての説明を受けた。

(3) 地域、高齢者との交流

例年であれば、各園が地域の清掃活動に参加したり、地域の特別養護老人ホームやデイサービス、シニアクラブ等と交流をしたり、祖父母や近隣の方を園に招待するなどの交流を実施していたが、今年度は昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

そうした状況の中、神宮前あおぞらこども園は、近隣保育園と交流をしたり、園の地域コーディネーターにも協力してもらい、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行った。

恵比寿のびのびこども園は、5歳児が作成した葉やクリスマスリースなどを地域の方に届けた。

神宮前保育園にじは、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行い、その活動を通じて繋がった都市農業家に協力してもらい、栽培活動を行った。

(4) こども園・保育園での体育指導

- ・子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
- ・子どもの保育にあたる職員が、安全な体育指導の方法を学ぶ。
- ・毎日、短い時間でも体を動かすプログラムを取り入れ、楽しく参加する。

上記3つの目的を持ち、株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に指導を依頼しているが、体力向上の効果が見られたため、平成29年度からは全園で毎月1回実施した。

例年はその成果を発表する機会を設けていたが、今年度は新型コロナウイルス感染

症の影響により、各園をリモートで繋ぐオンラインによる開催とした。

[実施対象]

3歳児・4歳児・5歳児 計345人

[令和3年度のねらい]

- ・子どもの運動能力を高める。
- ・体の巧みさが増す幼児期に、専門指導員が指導することにより、運動能力の発達向上を目指し、子ども達の運動欲求を満たす。

月	各月のねらい	内容
4月 5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・マット運動をする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等を楽しく実施。 ・でんぐりポーズ、前転体操座り等をする。 ・鼻つけ、けりあげ等をする。
7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等をする。 ・つばめ、前まわり等をする。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 ・発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・逆上がりを練習する。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。 ・全員1回ずつ発表する。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ等をする。 ・グーグージャンプ、開脚飛び等をする。
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・足抜き回り、つばめ等をする。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁倒立、手押し等をする。 ・指示行動をする。 ・つばめ、逆上がりの練習等をする。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・マット運動をする。 ・ダンスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・指示行動をする。 ・前転、後転をする。 ・音楽発表をする。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリッジ、映像を見て真似る、手押し車等をする。 ・指示行動をする。 ・蹴り上げ練習、補助あり逆上がり等をする。

(5) 体力測定

株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に協力を依頼して、各園の園児4歳児、5歳児を中心に2月、3月に体力測定を行った。その結果を活用し、体育指導では体幹を鍛える運動を取り入れるなどして運動能力の発達向上を目指した。

7 ひろば事業

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園及び本町そよかぜこども園において、一時保育（利用時間は4時間または8時間、1か月に1人10

回まで利用可能) 及び子育てひろば (体験給食、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談、身体計測など) を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。

(1) 一時保育の利用

登録者及び利用者の合計数を前年度と比較すると、登録者では32人、利用者では239人増えたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込み、令和元年度と比較すると、登録者は約57%、利用者は約55%となった。

利用の理由は、例年のとおり「リフレッシュ」「子どもが集団生活に慣れるため」「病院受診のため」が上位を占めており、全体の約71%となっている。

0～2歳児の利用が多く、全体の約89%となっている。全体を見ると4時間利用者が約63%、8時間利用者が約37%となっている。

ア 登録者・利用者 (上段は登録者、下段は利用者)

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	4時間利用	8時間利用
あおぞら	30人	19人	9人	9人	4人	3人	74人		
	328人	229人	78人	50人	28人	4人	717人	537人	180人
きらきら	18人	6人	7人	3人	2人	2人	38人		
	139人	132人	136人	33人	8人	8人	456人	250人	206人
のびのび	31人	17人	1人	7人	5人	3人	64人		
	71人	188人	47人	15人	32人	12人	365人	213人	152人
そよかぜ	26人	19人	5人	3人	2人	2人	57人		
	188人	160人	104人	19人	2人	9人	482人	274人	208人
計	105人	61人	22人	22人	13人	10人	233人		
	726人	709人	365人	117人	70人	33人	2,020人	1,274人	746人

イ 地域別登録者数

神宮前あおぞらこども園は神宮前地域が一番多く、74人のうち41人を占めており、次が千駄ヶ谷地域10人と続いている。

本町きらきらこども園は本町地域が一番多く、38人のうち26人を占めており、次が代々木地域5人と続いている。

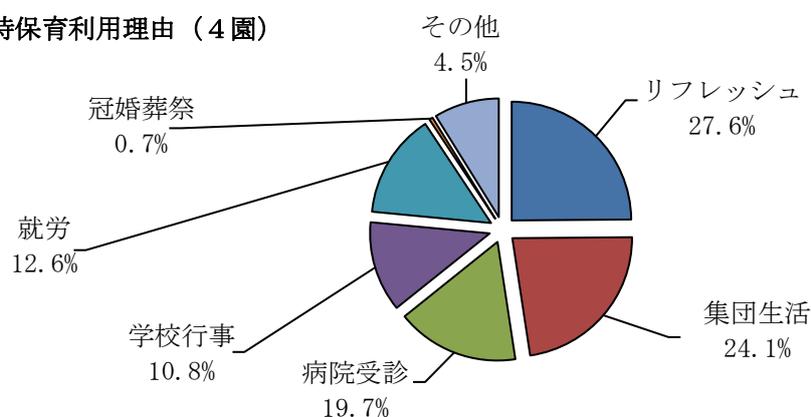
恵比寿のびのびこども園は恵比寿西地域が一番多く、64人のうち16人を占めており、次が恵比寿南地域14人と続いている。

本町そよかぜこども園は本町地域が一番多く、57人のうち34人を占めており、次が幡ヶ谷地域12人と続いている。

ウ 理由別利用者数（複数回答あり）

理由 施設	リフレッシュ	子どもが 集団生活 に慣れる ため	病院 受診	学校 行事	就労	冠婚 葬祭	その他	合計
あおぞら	48人	35人	32人	26人	17人	1人	5人	164人
きらきら	25人	25人	13人	13人	13人	0人	8人	97人
のびのび	35人	32人	32人	10人	22人	1人	8人	140人
そよかぜ	41人	38人	29人	9人	16人	2人	3人	138人
計	149人	130人	106人	58人	68人	4人	24人	539人

一時保育利用理由（4園）



(2) ひろばの利用

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度の利用者は令和元年度の約26%と大きく減ったが、今年度も昨年度より216人減となった。

ア ひろば事業内訳

項目 施設	体験給食	見学会	身体計測	ヨガ、体操 ベビーマッ サージ	Eスタート (英語)	自由利用	合計
あおぞら	0人	45人	0人	33人	22人	0人	100人
きらきら	0人	57人	0人	30人	21人	33人	141人
のびのび	0人	87人	0人	101人	62人	53人	303人
そよかぜ	0人	107人	0人	49人	34人	0人	190人
にじ	0人	0人				0人	0人
ゆめ	0人	113人	0人	12人		0人	125人
計	0人	409人	0人	225人	139人	86人	859人

※ 上記項目は、子どものみが参加するもののほか、親子で参加するものもあるが、表記は「人」で統一した。

イ 年齢別登録者

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	妊婦	合計
あおぞら	13人	13人	1人	1人	0人	0人	0人	28人
きらきら	41人	11人	6人	1人	2人	0人	3人	64人
のびのび	30人	19人	3人	2人	1人	0人	0人	55人
そよかぜ	8人	11人	5人	1人	1人	0人	0人	26人
にじ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
ゆめ	54人	7人	4人	2人	0人	0人	7人	74人
計	146人	61人	19人	7人	4人	0人	10人	247人

※ 見学会、行事（夏祭り・運動会）の参加者は登録者に含めない。

8 防災対策・避難訓練実施状況

消防法に基づき消防計画を策定し、防災設備・避難誘導器具等の日常点検の徹底を図った。年間の防災計画に従い避難訓練を毎月1回行うとともに、その計画の中に火災・消火訓練、地震、けがや事故に対応する救急車の要請訓練、不審者訓練、災害訓練、引取り訓練、さらにはJアラート訓練も取り入れて、様々な局面に対応できるよう訓練を行った。また、本町きらきらこども園は冠水の危険性があることから、備蓄食料を上階に移動させ、冠水発生時の訓練を行った。

	種別	災害想定	実施内容
4月	机上訓練 火災	調理室より出火	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画と防災職員体制を確認した。 避難方法、誘導経路、役割分担を確認した。 防災頭巾、靴、避難用品を点検した。
5月	火災	近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。
6月	地震 火災 不審者	園内 地震火災 安全退避訓練	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生を想定し、園児の安全を確保し、敏速に避難させた。 不審者侵入の際は、できるだけ不安を抱かせないように不審者から遠ざけ、不審者に対応する者は刺激しないようにする訓練をした。
7月	火災	火災 遅番時間帯 事務室	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。 ベルの音を聞き、非常事態が起きたことを知った。 遅番時間帯の火災に対する基本的な動き方を経験した。
8月	地震 火災	関東地方 中震度発生 火災	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、プール遊び中の避難方法を訓練した・水着等の子どもの安全を確保した。 職員同士、声を掛け合って行動する訓練をした。
9月	地震 火災	関東地方 強震度発生 近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 園庭に集まる訓練をした。 第一避難場所まで避難する訓練をした。 引き渡し訓練を行った。

10月	地震 火災	火災総合訓練 通報訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署員の指導・講評を受けた ・災害の怖さを子ども達に教えた。 ・通報、避難、消火など一連の動きを敏速に行う訓練をした。
11月	地震 火災	散歩先にて地震発生	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩中に災害が発生し、その場での避難誘導と園への報告を行った。
12月	地震 火災	関東甲信越地方 強震度発生 午睡時	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡中の園児の安全を確保し、敏速に避難させる訓練をした。
1月	火災 防災	近隣店舗より出火 早朝保育時 Jアラートに対応	<ul style="list-style-type: none"> ・初期消火及び消火の報告の訓練をした。 ・通報、消火協力の方法を再確認した。 ・窓の近くから離れ建物の中心に避難し、頭や目を守る訓練をした。
2月	火災	不審者侵入 火災	<ul style="list-style-type: none"> ・警察に通報し、安全に避難させる訓練をした。 ・調理室ごみ置き場より出火した場合の避難訓練をした。 ・不審者対応確認とさすまたの使い方の指導を受けた。
3月	地震 火災 机上訓練	関東地方 中震度発生	<ul style="list-style-type: none"> ・予告なしの総合訓練を行う。 ・年間反省を行い、次年度の課題を検討した。

※ しぶや保育メール（緊急メール配信システム）登録者状況

神宮前あおぞらこども園は約98%、本町きらきらこども園は100%、恵比寿のびのびこども園は100%、本町そよかぜこども園は100%、神宮前保育園にじは100%、西原保育園ゆめは約97%と高い登録率となっている。

9 職員研修

(1) 新規採用者に対する取り組み

こども未来課の保育支援アドバイザーらが企画する採用時総合研修では、新人保育士の心得、0歳児保育、記録の書き方、防災等に関すること、また、普通救急救命講習会では蘇生法等を学んだ。

また、総合研修の後、3月には配属予定のこども園や保育園において、4～5日間の実践的な現場研修を実施した。

さらに、配属半年後には振り返り研修を実施し、保育実践に関する意見交換や情報共有を行った。

(2) 現職員研修の取り組み

質の高い保育教育サービスを提供するために、職員の質の向上、専門技術の習得など様々な研修に参加した。

なお、例年実施していた海外研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、国内視察は応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を訪れた。

令和4年1月、視察前にオンライン研修を行い、参加者は園での取組みをまとめて発表し合った。また、視察後も参加者による報告会を行った。さらには3月、視察し

た保育園の園長らを講師として「応答的保育」に関するオンライン研修会を開催した。各園から多くの職員が参加したので、新年度への取組みへとつながった。

研修内容	延べ参加人数	研修機関・講師等
区研修 職層及び職場研修 (コーディネーター研修、ミドルリーダー研修、保護者対応危機管理研修、乳児担当担当研修、幼児担当研修等)	150人	渋谷区子ども家庭部保育課
幼児教育研修会	12人	渋谷区教育委員会
気になる子への手立て	9人	子ども発達相談センター
キャリアアップ研修	159人	指定研修実施機関(法人、学校等)

(3) 各園の職場研修の取り組み

各園での職員構成、保育力及び地域性を踏まえて実施した。

ア 神宮前あおぞらこども園

和太鼓実技演奏、荒馬踊り実技、応答的保育を考える、保育環境を考える、気になる子の対応、肯定的な言葉かけ

イ 本町きらきらこども園

嘔吐処理、園内の安全や環境、応答時保育を考える、記録の取り方

ウ 恵比寿のびのびこども園

環境整備ワークショップ及びメンテナンス、応答的保育を考える、嘔吐処理、座薬の入れ方、エピペンの使い方

エ 本町そよかぜこども園

応答的保育を学ぶ、保護者や地域の方に園活動を伝える(ドキュメンテーション)、子ども達が主体的に遊べる環境づくり

オ 神宮前保育園にじ

応答的保育を学ぶ、異年齢保育、環境整備、嘔吐処理、心理士による配慮が必要な子どもへの援助の仕方、虐待を防ぐ

カ 西原保育園ゆめ

応答的保育を学ぶ、環境整備、環境整備ワークショップ、異年齢保育、嘔吐処理、虐待及びハラスメント

キ その他

「虐待の予防チェック表」を作成して全職員で確認を行った。また、「自己評価チェックリスト」を作成し、各自が年3回チェックをして保育の質の向上を目指した。

10 その他の取り組み

(1) 第三者評価の実施

ア 神宮前保育園にじ

8月12日	事前打ち合わせ（リモート）
9月 6日	職員説明会及び保護者アンケート配付
1月19日	訪問調査 保護者 30人中24人回答（回答率：80%） 職員 13人中13人回答（回答率：100%）
2月15日	評価結果報告
3月 3日	ホームページ公開

イ 本町きらきらこども園

9月 3日	事前打ち合わせ（リモート）
10月 4日	職員説明会及び保護者アンケート配付
12月 8日	訪問調査 保護者 106人中82人回答（回答率：77.4%） 職員 27人中27人回答（回答率：100%）
3月31日	評価結果報告
4月中	ホームページ公開予定

(2) 職場体験（育児体験含む）の実施

例年は小学生や中学生の体験を受け入れていたが、今年度は昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(3) 実習生及びインターンシップ受入

実習については、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に係る期間を除き、希望があれば全園で随時受入れ可能であり、昭和女子大学人間社会学部初等教育学科（1人）、東京福祉大学保育児童学部保育児童学科（2人）、駒沢女子短期大学保育科（1人）から実習生を受け入れた。

なお、インターンシップの受入れはなかった。

(4) 夏体験ボランティア受入

例年は中学生や高校生、大学生のボランティアを受け入れていたが、今年度は昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(5) 苦情対応について

利用者から寄せられた苦情、意見、指摘を真摯に受け止め、ISO10002:2004に基づいた苦情対応、解決に向けて迅速、誠実、公正に対応を行い、原因を特定し、再発防止策を講じている。

また、各園に「ご意見箱」を玄関に設置し、年度末や保護者会、行事毎にアンケートを実施し、利用者の要望を把握している。各園の苦情については年度毎にホームページ

で公開している。

(6) 健康教育

全園の幼児クラスでは、毎月の身体計測の際に看護師による健康教育を実施している。手洗いやうがいの指導、栄養の大切さ、自分の体の仕組み、早寝早起きの励行等について、紙芝居や人形などを使い見て分かるように行っている。毎月、年齢ごとに怪我の内容や感染症の流行なども把握しており、事故予防や安全衛生を心掛けている。

(7) 職員による動画の配信

新型コロナウイルス感染症による陽性者や濃厚接触者の発生によりクラスが閉鎖となった場合、クラス担任らが手遊びや歌、読み聞かせ等の動画を製作して、登園自粛期間中に各家庭へ配信するなどした。

(8) 保護者との連携

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで行っていた対面による保護者会の開催が難しくなり、オンラインによる保護者会を実施した。オンラインでの開催は、保護者の方がどこからでも参加できること、人数制限がなく両親で参加できることにより好評だったが、年度末に行った保護者アンケートによれば、職員と直接話をしたいという意見もあった。

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の事業報告

事業団は、「あやめの苑・代々木地域包括支援センター」「つばめの里・本町東地域包括支援センター」「笹幡地域包括支援センター」「ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」「豊沢・新橋地域包括支援センター」「富ヶ谷・上原地域包括支援センター」及び「千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」に、今年度より「恵比寿西二丁目地域包括支援センター」を加えた8か所を渋谷区から受託運営し、地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化を図るとともに課題把握に努めた。

地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの構築及び推進を図るため、地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続することができるよう、親身になって相談に乗り、介護サービスをはじめとした様々なサービスが高齢者のニーズや状態の変化に応じて、途切れることなく提供されるように、高齢者の生活を支える総合相談窓口の役割を果たしている。

そのうち、あやめ、笹幡、原宿の丘及び豊沢・新橋の4センターは、圏域における統括・総合調整の機能を担っている。

さらに、認知症地域支援推進員を置く機能強化型支援センターは、渋谷区と共に、第8期計画「しぶや いきいき あんしんプラン」に策定されている新規事業を令和4年度に実施出来るよう、「本人ミーティング」・「認知症検診」・「認知症予防プログラム」・「チームオレンジの構築（令和5年度実施予定）」の検討・研修会等を実施した。

また、普及・啓発活動として認知症相談会・認知症サポーター養成講座・フォローアップ研修・認知症フォーラムを実施し、人材の発掘やネットワークの構築に取り組んだ。

なお、あやめの苑・代々木居宅介護支援事業所は、令和4年3月31日をもって廃止した。

1 事業内容

- (1) 介護予防ケアプラン作成及び介護予防事業の紹介
- (2) 高齢者の介護や保健・福祉サービス利用等の総合相談支援
- (3) 虐待に関する相談等の権利擁護事業

◆ 地域包括支援センター利用状況（令和4年3月31日現在）

ア 相談件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	813件	848件	834件	873件	821件	980件
恵比寿西	743件	671件	856件	737件	854件	900件
富ヶ谷・上原	583件	642件	714件	677件	677件	635件
あやめ	748件	758件	949件	887件	806件	917件
本町	869件	797件	850件	773件	833件	844件
笹幡	1,064件	1,137件	1,349件	1,247件	1,278件	1,304件
千駄ヶ谷・北参道	452件	487件	524件	478件	480件	546件
原宿	718件	845件	891件	798件	767件	695件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	894件	806件	815件	866件	818件	903件	10,271件
恵比寿西	1,007件	942件	995件	915件	974件	1,026件	10,620件
富ヶ谷・上原	648件	623件	737件	702件	650件	748件	8,036件
あやめ	827件	839件	822件	867件	843件	903件	10,166件
本町	950件	944件	977件	832件	818件	901件	10,388件
笹幡	1,241件	1,126件	1,194件	1,155件	1,122件	1,130件	14,347件
千駄ヶ谷・北参道	596件	628件	553件	600件	534件	553件	6,431件
原宿	827件	766件	796件	867件	676件	773件	9,419件

イ 介護予防事業新規契約件数（総合事業含む）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	8件	6件	5件	8件	4件	4件
恵比寿西	157件	5件	5件	7件	6件	10件
富ヶ谷・上原	3件	1件	8件	4件	6件	4件
あやめ	1件	3件	6件	15件	3件	6件
本町	8件	9件	8件	10件	4件	8件
笹幡	7件	10件	10件	9件	17件	10件
千駄ヶ谷・北参道	4件	2件	7件	2件	1件	3件
原宿	3件	2件	4件	7件	6件	2件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	7件	5件	8件	3件	7件	6件	71件
恵比寿西	5件	5件	6件	0件	5件	8件	219件
富ヶ谷・上原	4件	8件	5件	9件	4件	2件	58件
あやめ	9件	6件	7件	9件	5件	4件	74件
本町	14件	8件	6件	4件	11件	5件	95件
笹幡	10件	12件	13件	6件	7件	5件	116件
千駄ヶ谷・北参道	0件	6件	2件	2件	4件	3件	36件
原宿	9件	6件	5件	2件	3件	3件	52件

ウ ケアプラン作成件数

(ア) 介護予防支援（予防給付）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	160件	170件	160件	161件	164件	162件
恵比寿西	108件	108件	112件	113件	124件	119件
富ヶ谷・上原	89件	87件	95件	93件	89件	89件
あやめ	122件	123件	124件	132件	123件	127件
本町	151件	161件	168件	160件	157件	153件
笹幡	177件	181件	180件	180件	183件	183件
千駄ヶ谷・北参道	70件	71件	74件	73件	72件	73件
原宿	95件	98件	99件	100件	97件	94件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	160件	163件	161件	159件	161件	153件	1,934件
恵比寿西	118件	108件	114件	113件	116件	112件	1,365件
富ヶ谷・上原	89件	91件	91件	88件	85件	84件	1,070件
あやめ	126件	121件	132件	122件	130件	118件	1,500件
本町	160件	155件	151件	147件	158件	155件	1,876件
笹幡	183件	194件	186件	184件	184件	176件	2,191件
千駄ヶ谷・北参道	71件	71件	68件	73件	72件	75件	863件
原宿	107件	101件	101件	107件	104件	101件	1,204件

(イ) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業：総合事業）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	82件	82件	79件	84件	78件	75件
恵比寿西	49件	47件	51件	55件	54件	58件
富ヶ谷・上原	73件	71件	72件	70件	67件	69件
あやめ	70件	68件	69件	66件	68件	72件
本町	84件	81件	80件	87件	79件	82件
笹幡	90件	89件	90件	90件	89件	93件
千駄ヶ谷・北参道	55件	52件	50件	50件	47件	47件
原宿	55件	58件	53件	54件	49件	51件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	77件	81件	81件	76件	79件	74件	948件
恵比寿西	63件	73件	72件	66件	61件	68件	717件
富ヶ谷・上原	72件	73件	71件	74件	74件	77件	863件
あやめ	76件	74件	77件	72件	75件	75件	862件
本町	87件	89件	91件	88件	81件	82件	1,011件
笹幡	91件	93件	95件	90件	89件	88件	1,087件
千駄ヶ谷・北参道	45件	48件	56件	53件	52件	53件	608件
原宿	48件	47件	48件	45件	46件	48件	602件

◆ 居宅介護支援事業利用状況（令和4年3月31日現在）

ア 居宅介護事業申請受付件数及びケアプラン作成件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
あやめ居宅	0件	0件	1件	0件	0件	2件
	8件	8件	7件	8件	7件	9件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あやめ居宅	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
	8件	8件	8件	8件	8件	8件	95件

※ 上段は申請受付件数、下段はケアプラン作成件数。

イ 認定調査実施件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
87件	63件	67件	58件	59件	84件

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
82件	79件	94件	78件	86件	97件	934件

2 職員配置（令和4年3月31日現在）

(1) 地域包括支援センター

施設	職種	課長	事務	介護支援 専門員	保健師・ 看護師	合計	総合計
豊沢・新橋	正規職員			4人	3人	7人	8人
	非正規職員			1人		1人	
恵比寿西二丁目	正規職員			3人	1人	4人	5人
	非正規職員			1人		1人	
富ヶ谷・上原	正規職員			4人	1人	5人	5人
	非正規職員					0人	
あやめ	正規職員	1人	1人	4人	3人	9人	9人
	非正規職員					0人	
本町	正規職員			4人	2人	6人	7人
	非正規職員			1人		1人	
笹幡	正規職員			7人	1人	8人	9人
	非正規職員			1人		1人	
千駄ヶ谷・ 北参道	正規職員	1人		2人	1人	4人	5人
	非正規職員			1人		1人	
原宿	正規職員			4人	2人	6人	6人
	非正規職員					0人	
総合計	正規職員	2人	1人	32人	14人	49人	54人
	非正規職員	0人	0人	5人	0人	5人	

※ センター長が課長（介護支援専門員）である施設

あやめ（地域包括ケア担当課長）、千駄ヶ谷・北参道

※ センター長が介護支援専門員を兼務している施設

豊沢・新橋、恵比寿西二丁目、富ヶ谷・上原、本町、笹幡、原宿

※ 正規職員の看護師のうち、産休取得中が1人、育休取得中が1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（介護支援専門員）

(2) 居宅介護支援事業所

施設	職種	介護支援 専門員	合計
あやめ	非正規職員	3人	3人

3 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間以内の勤務とする。

(1) 地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所職員

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護支援 専門員 看護師	平常	8:30		—————										17:15					
	遅番A	9:00		—————										17:45					
	遅番B	10:15		—————										19:00					

4 職員研修

地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所においては、介護支援専門員の資格に関わる専門研修、認定調査員の研修等に参加している。高齢者を支援する上で必要な専門的知識をより深めるため、認知症研修、高齢者虐待防止や在宅医療等の研修、権利擁護に関する研修等に参加し、福祉・保健・医療の連携を図るため、自己研鑽に努めた。

なお、延参加人数は188人、延研修日数は109日である。